

北海道横断自動車道（らんこし蘭越～くっちゃん倶知安）

第3回 説明資料

令和5年12月19日

国土交通省 北海道開発局

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第2回地域意見聴取結果
3. 対応方針（原案）の検討
4. 自治体への意見照会結果
5. 対応方針（案）のまとめ

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1) 計画段階評価の手續きの進め方(案)

- 令和4年12月2日から約2ヶ月半の間、地域意見聴取を実施。
- 本委員会は第2回地域意見聴取の結果、対応方針(案)について議論。

【令和3年11月25日】

北海道 地方小委員会

- 【審議内容】
- 計画段階評価
手續きの進め方
- 地域・道路の
現状と課題
- 地域意見聴取方法
(案)

【令和3年12月15日
～令和4年3月4日】

地域意見聴取 (第1回)

- 地域・道路の課題
- ◆意見聴取方法
〈ヒアリング〉
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
- 〈アンケート〉
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

【令和4年10月12日】

北海道 地方小委員会

- 【審議内容】
- 地域意見聴取の結果
- 地域意見を踏まえた
路線の政策目標(案)
- 地域意見を踏まえた
路線の整備方針(案)
- 比較ルート(案)
(複数案)
- 地域意見聴取方法
(案)

【令和4年12月2日
～令和5年2月14日】

地域意見聴取 (第2回)

- 路線の整備方針
- ◆意見聴取方法
〈ヒアリング〉
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
- 〈アンケート〉
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

今 回

北海道 地方小委員会

- 【審議内容】
- 地域意見聴取の
結果
- 対応方針(案)

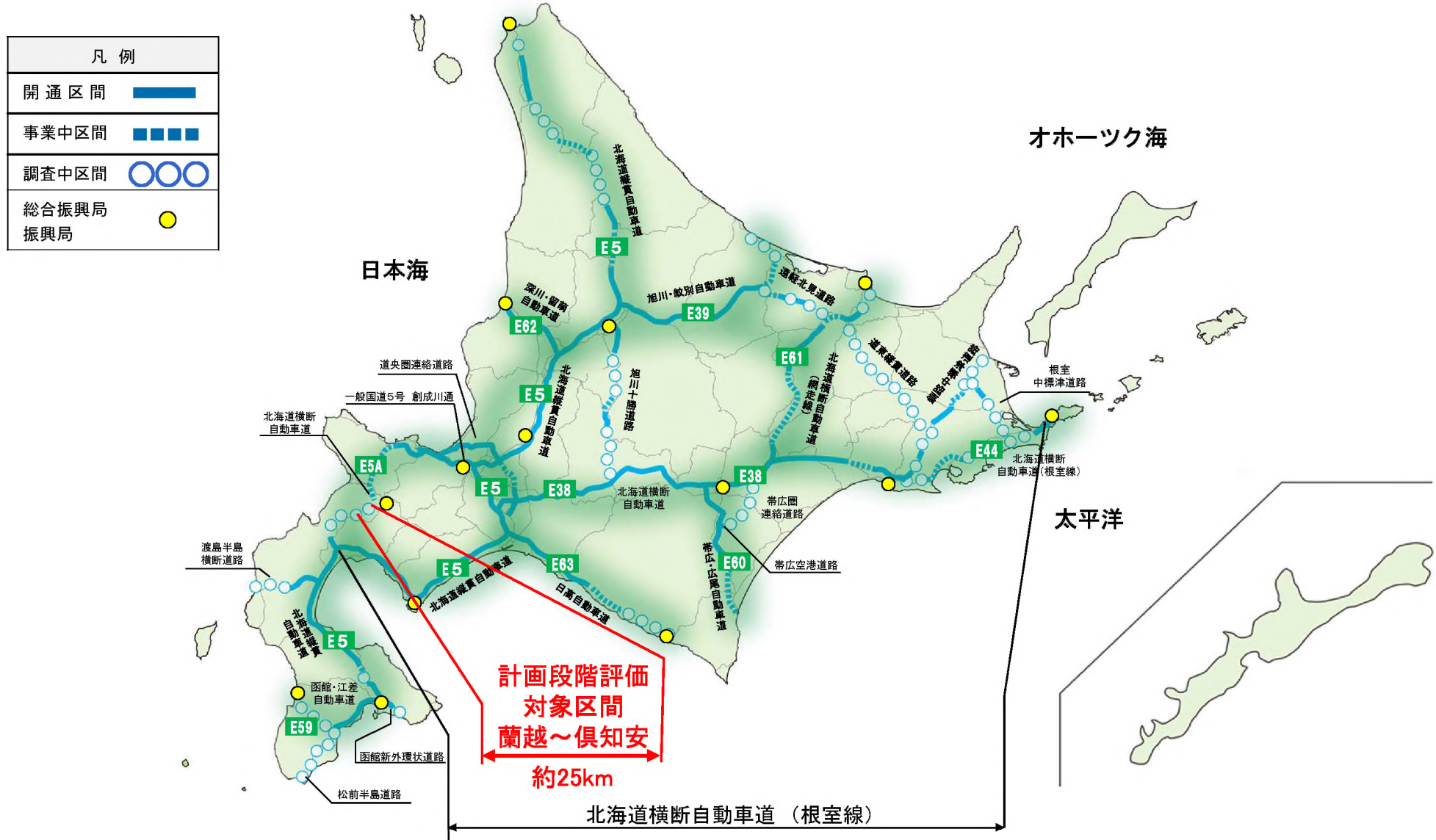
対応方針の決定
(概略ルート・構造等)

北海道地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

1-2) 北海道の高規格道路網

- 北海道横断自動車道(根室線)は、黒松内町を起点として、札幌市、帯広市、釧路市を經由し、根室市へ至る高規格道路。
- 評価対象区間は、黒松内町から根室市へ至る北海道横断自動車道(根室線)の一部区間。



1-3) 北海道横断自動車道(根室線)の進捗

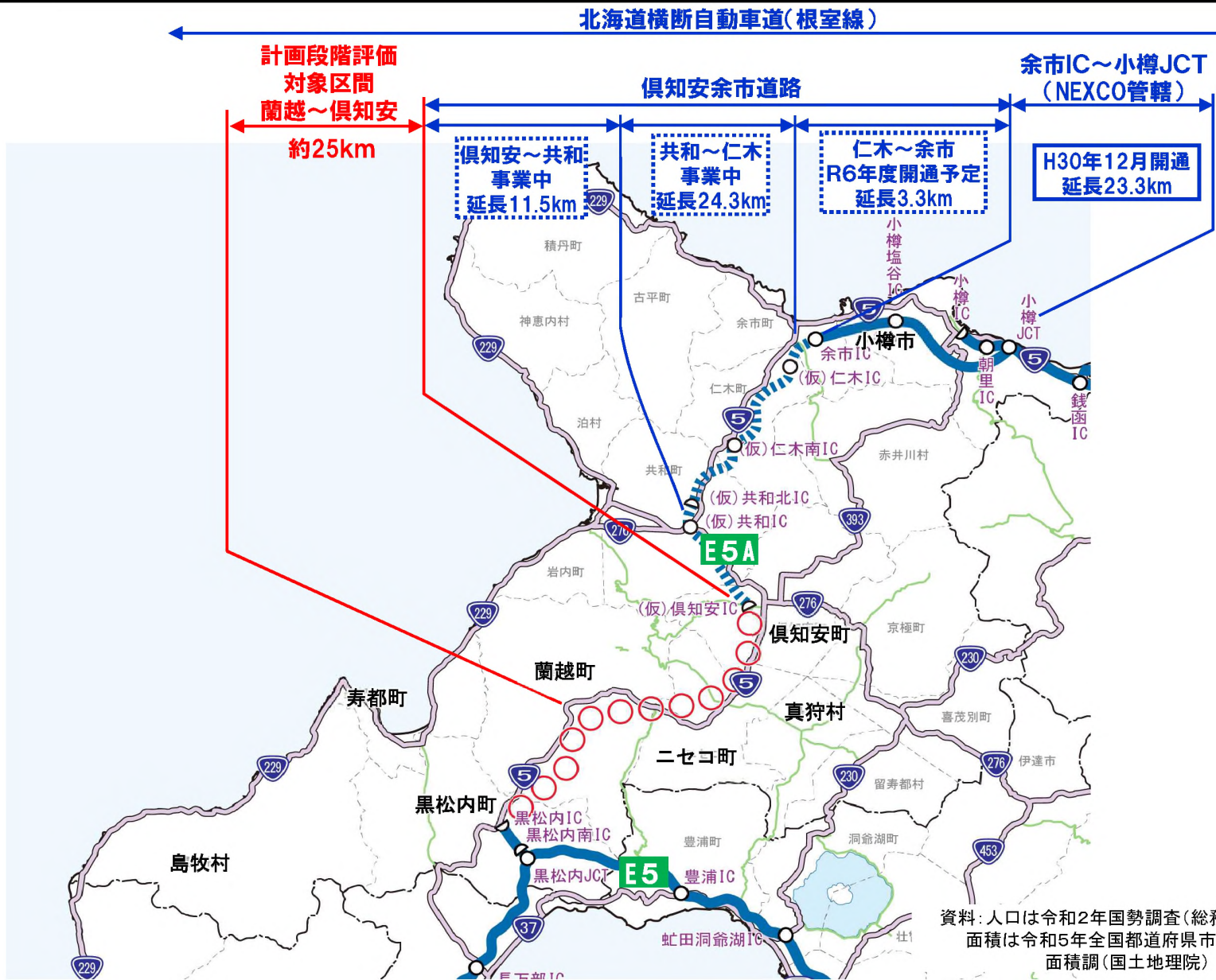
○北海道横断自動車道(根室線)のうち蘭越から小樽間では、余市インターチェンジから小樽ジャンクションが平成30年度に開通済み。
○倶知安余市道路が現在事業中であり、このうち(仮称)仁木インターチェンジから余市インターチェンジ間が令和6年度に開通予定。
○当該区間は、事業中の倶知安余市道路に接続する延長約25kmの区間。

▼位置図



凡 例	
開 通 区 間	
事業中区間	
調査中区間	

自治体名	人口(人)	面積(km ²)
俱知安町	15,129	261.34
二セコ町	5,074	197.13
蘭越町	4,568	449.78
寿都町	2,838	95.25
島牧村	1,356	437.18
黒松内町	2,791	345.65
真狩村	2,045	114.25
小樽市	111,299	243.83



資料：人口は令和2年国勢調査（総務省）、
面積は令和5年全国都道府県市区町村別
面積調（国土地理院）

1-4) 前回委員会での主な意見と対応

■第2回計画段階評価（第31回北海道地方小委員会）の概要

実 施 日	令和4年10月12日（水）
議事内容	○地域意見聴取結果 ○地域意見を踏まえた政策目標（案） ○路線の整備方針(案) ○第2回地域意見聴取方法（案）

■主な意見と対応状況

主な意見	対 応	資料
・蘭越～倶知安で実施した第1回地域意見聴取の英語アンケートは非常に良い取り組み。ニセコ周辺の外国人居住者の属性を考慮し、第2回地域意見聴取では中国語アンケートも効果的ではないか。	・第2回地域意見聴取のWEBアンケートでは、英語版に加えて中国語版(簡体字版と繁体字版)も作成し、アンケートを実施。	資料3:P9、P10
・インバウンド観光が回復しつつあり、外国人へのアンケート調査に期待。	・ニセコグランヒラフスキー場と道の駅「ニセコビュープラザ」で、英語、中国語(広東語、北京語)に対応可能な調査員をそれぞれ1名配置し、外国人観光客の面談アンケートを実施。	資料3:P9、P10 参考資料5:P58～61 P64～67
・救急搬送の整備効果としては、わずかな時間短縮であっても重要な効果。	・病院や消防へのヒアリング時に、時間短縮の重要性について把握。	資料3:P20、P21
・第2回地域意見聴取時には、地域の状況や比較ルート案の整備イメージがわかるよう配慮が必要。	・第2回地域意見聴取票の説明資料に、現道の状況と整備イメージを伝えるためのイラストを追記。	参考資料8:P9、P10 P11
・第2回地域意見聴取の結果を踏まえ、インターチェンジ設置位置はしっかりと検討するべき。	・インターチェンジ設置位置は、アンケート項目のみではなく、ヒアリングで把握した地域での使われ方を考慮し検討。	資料3:P15、P18、 P23、P33

2. 第2回地域意見聴取結果

2-1) 第2回地域意見聴取の概要

○第2回地域意見聴取は、住民・道路利用者へのアンケート調査、および沿線自治体・関係団体へのヒアリング調査を実施。

- 地域意見聴取期間
- 令和4年12月2日(金)～令和5年2月14日(火)
- ヒアリング : 令和4年12月2日～令和5年2月14日
- Webアンケート調査 : 令和4年12月2日～令和5年2月14日
- 郵送配布調査 : 令和5年1月18日～令和5年2月14日
- 留置きアンケート調査 : 令和5年1月18日～令和5年2月14日
- 観光客面談アンケート : 令和5年1月28日(土) 9時～17時
- 意見聴取の方法と対象者



対象者・実施方法			
アンケート	【地域住民及び道路利用者】		
	地域住民※1	倶知安町(全戸:8,218戸)、ニセコ町(全戸:2,532戸)、蘭越町(全戸:2,067戸)、寿都町(全戸:1,298戸)、島牧村(全戸:611戸)、黒松内町(全戸:1,198戸)、真狩村(全戸:899戸)	郵送配布調査(16,823戸)
	道路利用者	7自治体の役場、道の駅7箇所(くろまつない、よってけ!島牧、みなとま〜れ寿都、らんこし・ふるさとの丘、シェルプラザ・港、ニセコビュープラザ、真狩フラワーセンター)、まちなみ(倶知安町)、スキー場(4箇所)	常設の留置きアンケート調査(計19箇所)
		広域的な利用者	Webアンケート調査
ヒアリング	観光客	観光施設等(スキー場4か所「ニセコグランヒラフスキー場」「ニセコアンヌプリスキー場」「ニセコモイワスキー場」「ニセコビレッジスキー場」、道の駅「ニセコビュープラザ」)	インタビュー形式でのアンケート調査(計5箇所)
	【自治体及び団体代表者】		
ヒアリング	沿線自治体等	後志総合振興局、倶知安町、ニセコ町、蘭越町、寿都町、島牧村、黒松内町、真狩村	インタビュー形式でのヒアリング (8沿線自治体等 36関係団体)
	関係団体※2	商工会議所、商工会(6箇所) 農業協同組合、漁業協同組合 北海道トラック協会、札幌地区トラック協会 運輸事業者(2社)、バス事業者(2社)、レンタカー事業者、タクシー事業者(2社) 北海道観光振興機構、観光協会(3箇所) 消防本部(2箇所)、病院(4箇所)	

※1:戸数は実際の配布数 ※2:関係団体のうち()が無い団体は、1箇所であることを示す

2-2) 第2回地域意見聴取の実施状況(アンケート調査)

○地域住民・道路利用者に対して、対策案の検討にあたって重視すべき事項、対策案の比較にあたって配慮すべき事項、インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって配慮すべき事項について、アンケート調査を実施。

■意見聴取内容

- 回答者属性:住所、性別、年齢、職業、自動車運転頻度、蘭越～倶知安間の利用頻度・利用目的、前回アンケートの回答有無
- 問1: 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきか
- 問2: 対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮し計画すべきか
- 問3: インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきか
- 問4: その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備の意見等について(自由意見)

■配布形式調査票

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

■Web(小樽開発建設部HP)

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)における道路計画に関する第2回アンケート調査

■観光客面談アンケート



道の駅ニセコビュプラザ
(道外観光客へのアンケートの状況)

■自治体HP

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

北海道ニセコ町

■広報誌

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

北海道横断自動車道(蘭越～倶知安間)第2回地域意見聴取

■留置き状況



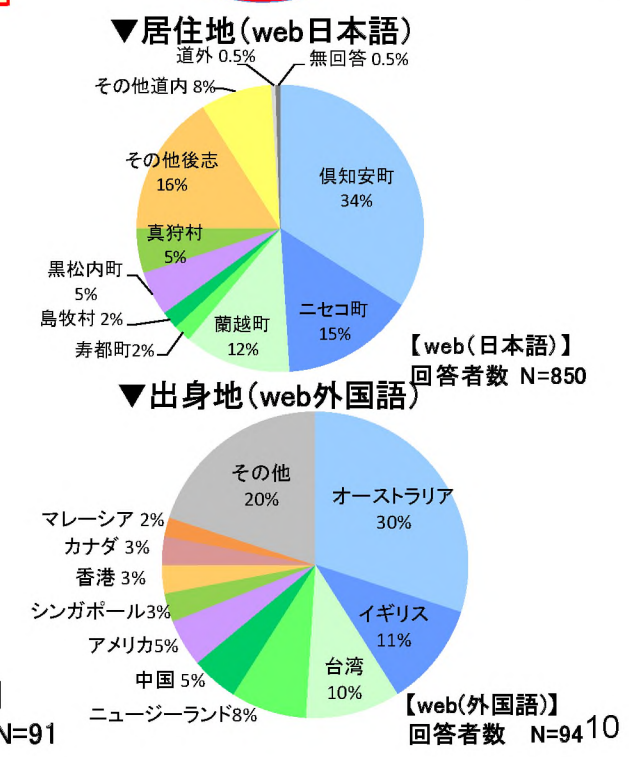
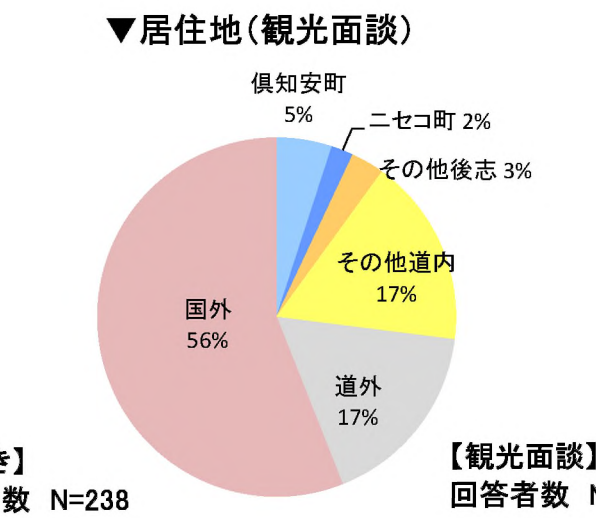
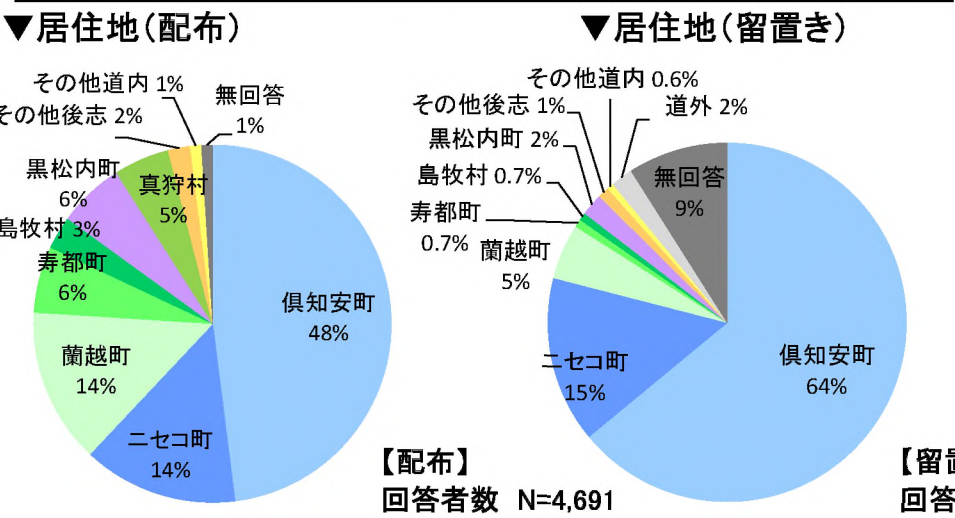
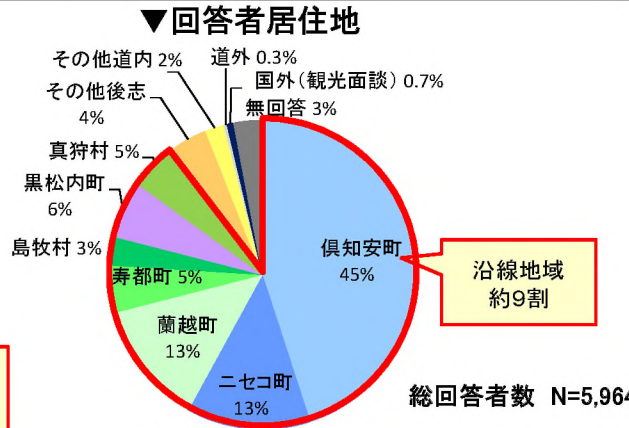
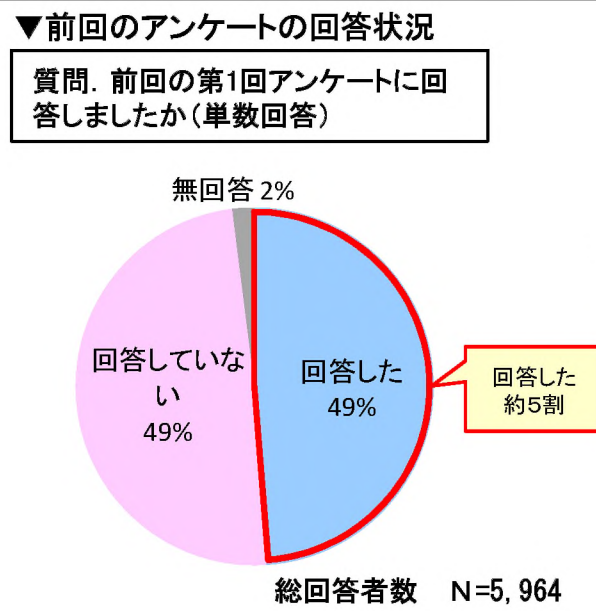
ニセコグランヒラフスキー場
(外国人へのアンケートの状況)

2-3) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(回収状況・居住地)

○全回収数は5,964票で、配布形式は4,691票、留置きは238票、Webは944票、観光客は91票が回答。
○回答者の約5割が前回の第1回アンケートに回答。
○回答者の居住地は、沿線地域(倶知安町、ニセコ町、蘭越町、寿都町、島牧村、黒松内町、真狩村) が約9割、その他後志地域、その他道内と道外・国外が約1割。

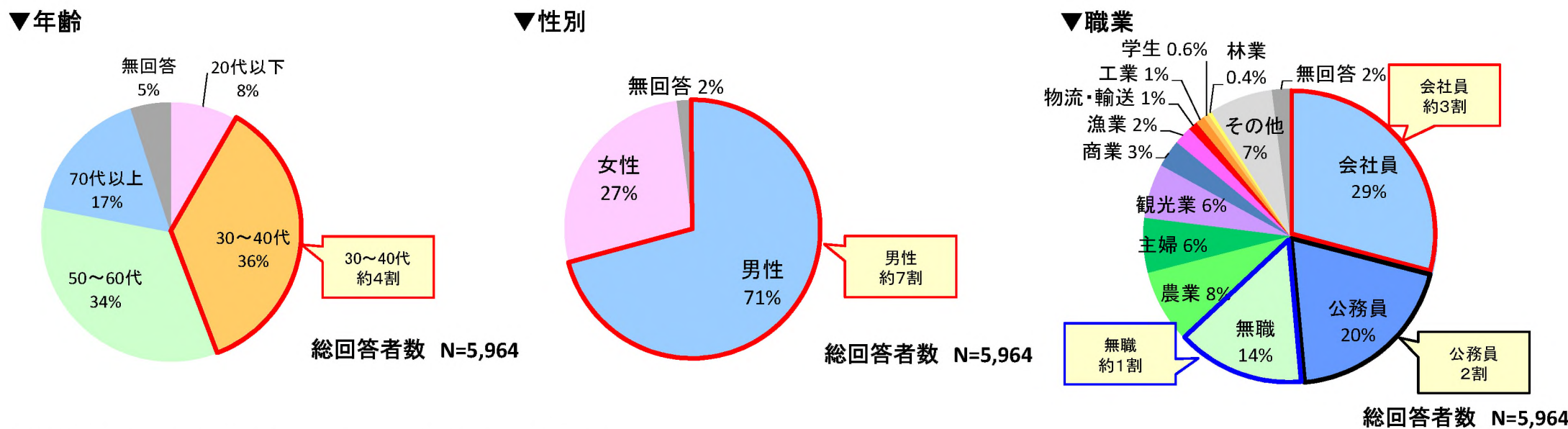
▼調査票回収状況 ※配布数はアンケートを郵送した実数

調査形式	配布数	回収数	回収率
配布(地域住民)	16,823票※	4,691票	28%
留置き (役場、道の駅、スキー場等)	—	238票	—
Web	—	944票	—
うちweb日本語	—	(850票)	—
うちweb英語	—	(75票)	—
うちweb簡体字	—	(8票)	—
うちweb繁体字	—	(11票)	—
面談(観光客)	—	91票 (うち外国人51票)	—
合計	16,823票	5,964票	—

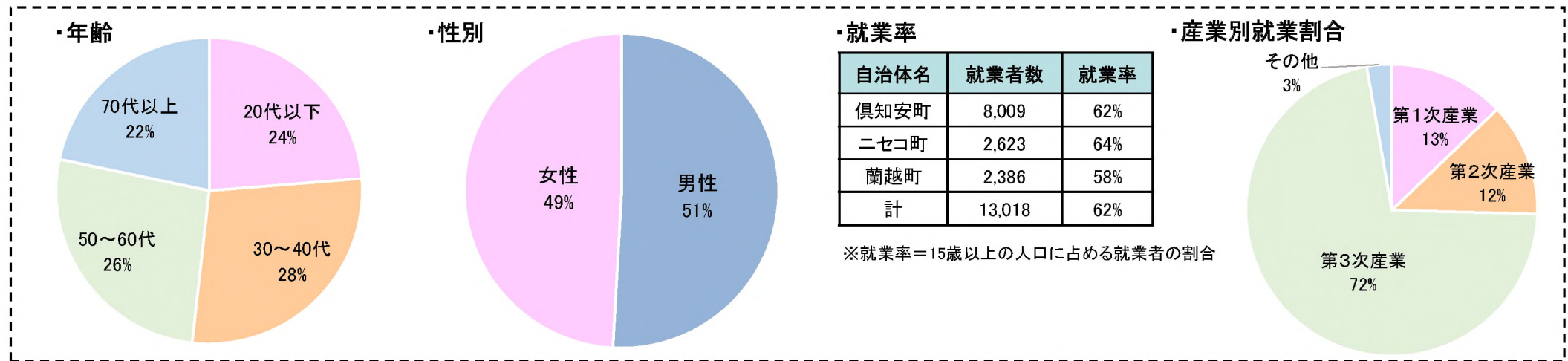


2-4) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(回答者属性)

○年齢構成は、30～40代が約4割と最も多く、性別では男性が約7割と多くなっており、20代以下の年齢層や女性の回答者は低い状況。
○職業については、会社員が約3割で最も多く、次いで公務員が2割、無職が約1割。



【参考】沿線自治体(倶知安町、ニセコ町、蘭越町)の統計データ

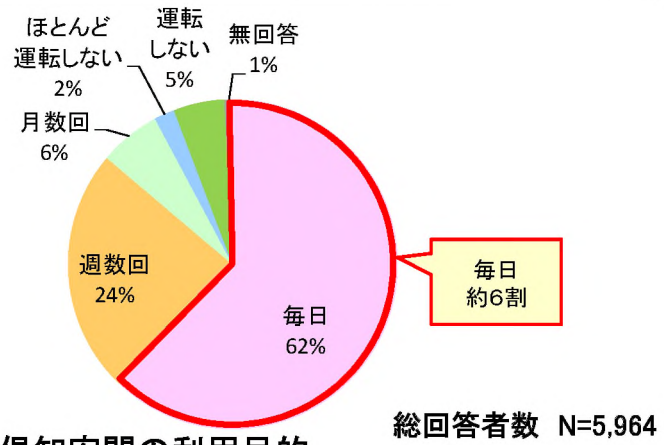


2-5) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度等)

- 自動車運転頻度は、回答者の約6割が毎日運転と回答。
- 蘭越～倶知安間の利用頻度は、「毎日～月数回」の高頻度利用者が約8割を占めている。
- 蘭越～倶知安間の利用目的は、「家事・買物」、「観光・レジャー」、「仕事(営業・運送等)」、「通勤・通学」の順で多くなっている。

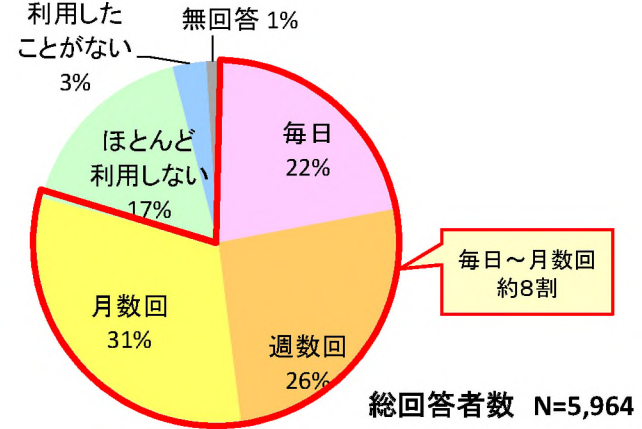
▼自動車を運転する頻度

質問. 自動車を運転する頻度を教えてください(単数回答)



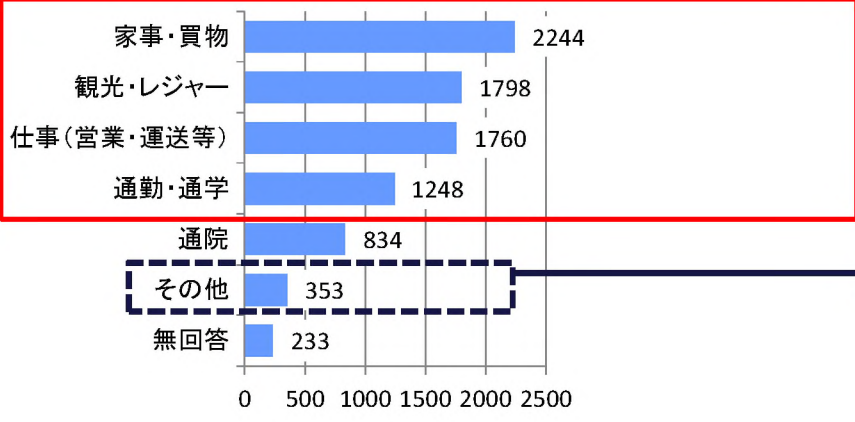
▼国道5号蘭越～倶知安間の利用頻度

質問. 蘭越～倶知安間の利用頻度を教えてください(単数回答)

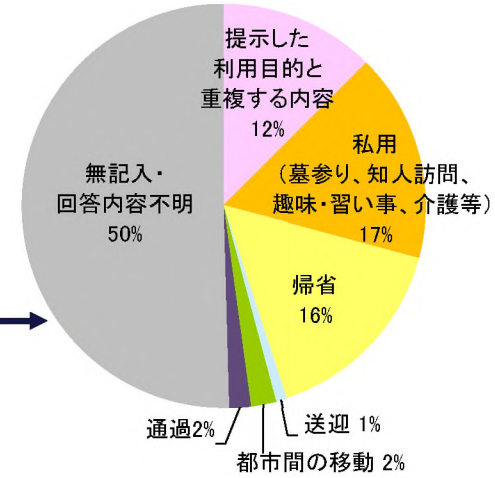


▼蘭越～倶知安間の利用目的

質問. 蘭越～倶知安間の主な利用目的を教えてください(複数回答)



その他項目
回答者数 N=353の内訳

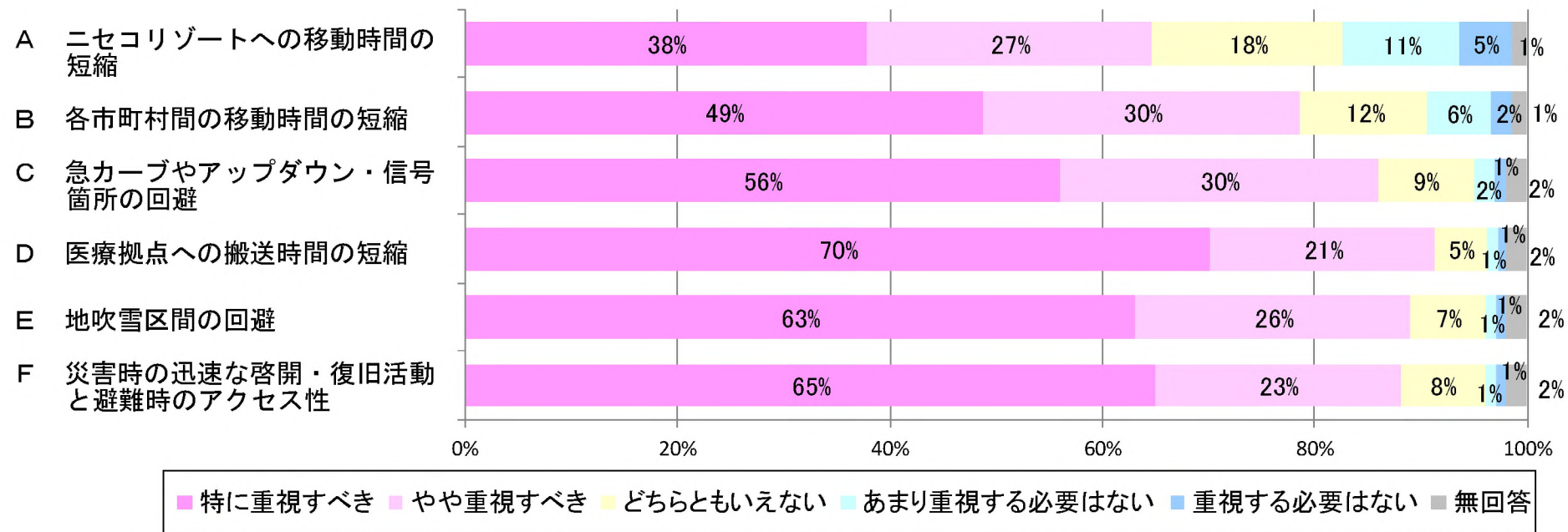


2-6) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(対策案選定時に重視すべき事項)

○対策案選定時に重視すべき事項については、すべての項目に対し6割以上が重視すべきと感じている。
○特に、「医療拠点への搬送時間の短縮」について重視すべきとの意見が9割以上と多い。

質問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A ニセコリゾートへの移動時間の短縮	1	2	3	4	5
B 各市町村間の移動時間の短縮	1	2	3	4	5
C 急カーブやアップダウン・信号箇所の回避	1	2	3	4	5
D 医療拠点への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
E 地吹雪区間の回避	1	2	3	4	5
F 災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性	1	2	3	4	5

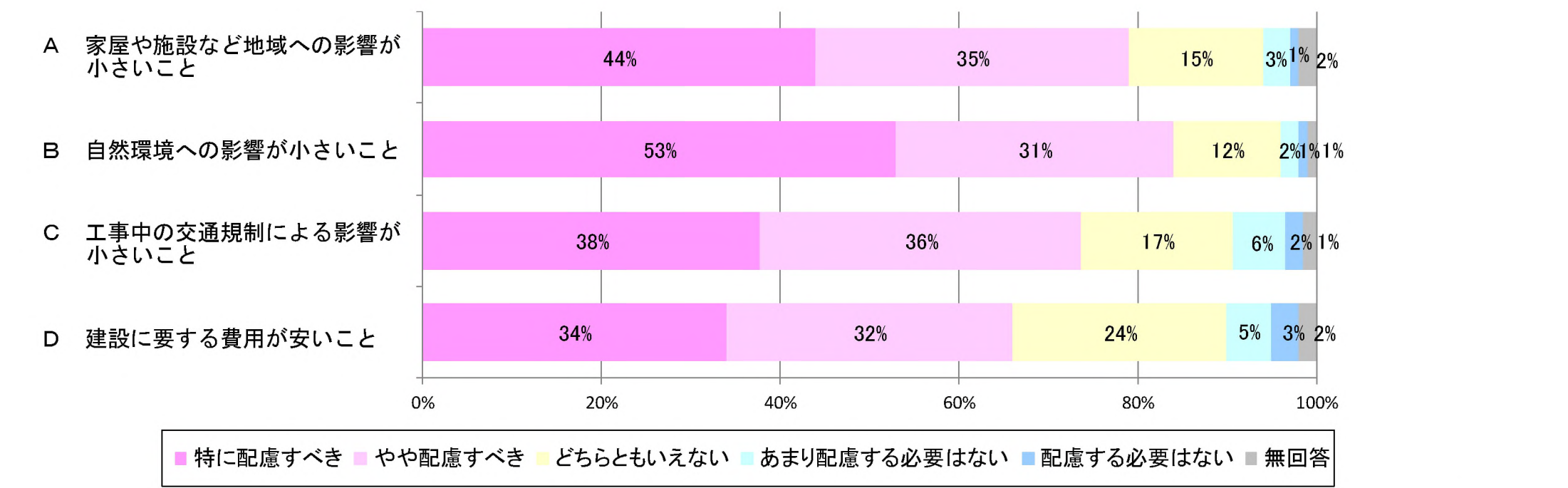


2-7) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(対策案選定時に配慮すべき事項)

○対策案選定時に配慮すべき事項については、すべての項目に対して6割以上が配慮すべきと感じている。
○中でも、「自然環境への影響が小さいこと」に配慮すべきとの意見が8割以上と多い。

質問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5

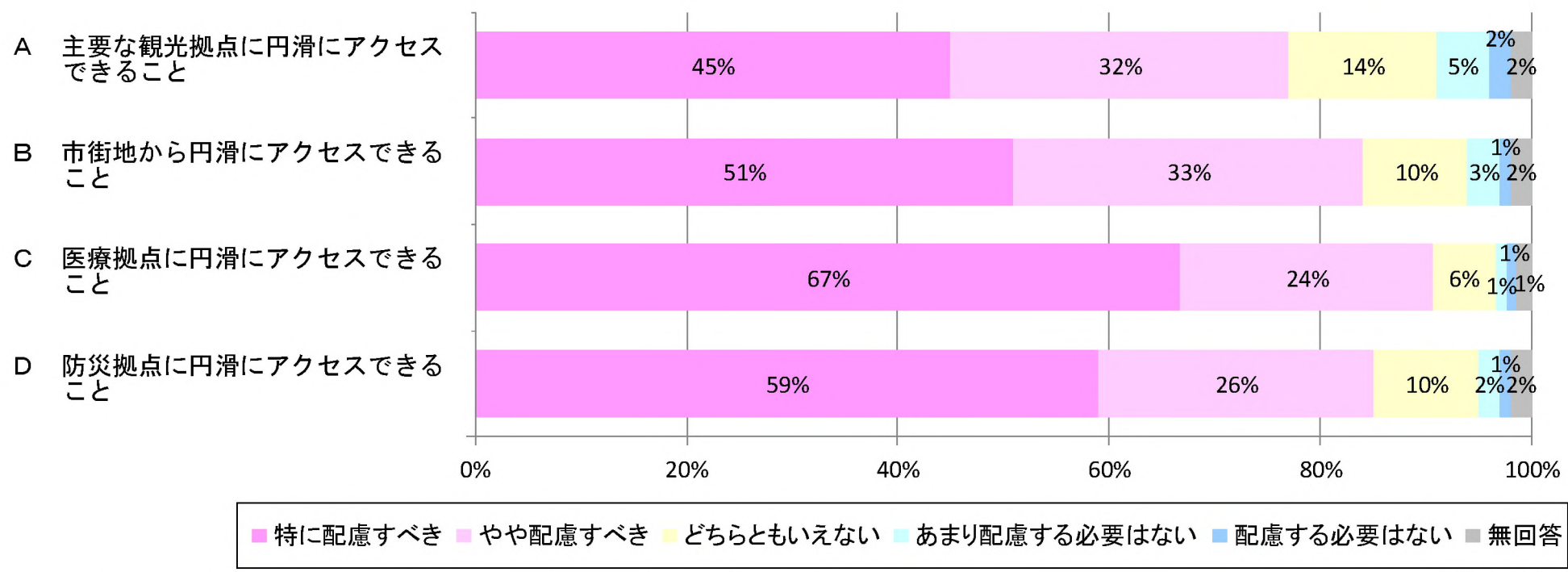


2-8) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(インターチェンジに配慮すべき事項)

○インターチェンジに配慮すべき事項の重要度については、すべての項目に対し7割以上が配慮すべきと感じている。
○特に、「医療拠点に円滑にアクセスできること」に配慮すべきとの意見は9割以上と多い。

質問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 主要な観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
B 市街地から円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
C 医療拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
D 防災拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5



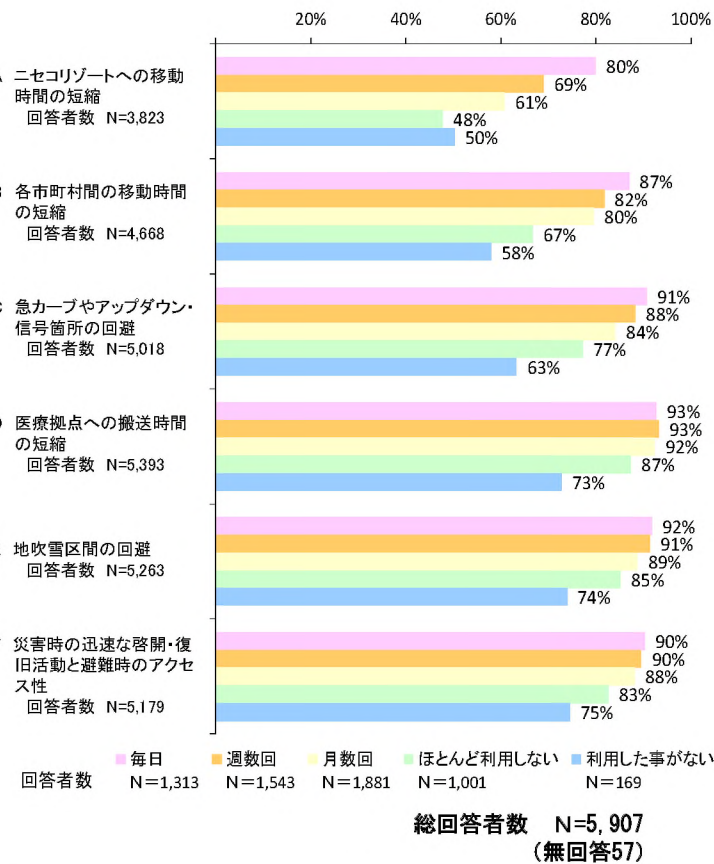
2-9) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度別意見割合)

○国道5号蘭越～倶知安間の利用頻度別に対策案選定時に重視すべき事項の重視度の賛同意見割合をみると、すべての項目で利用頻度が高いほど、概ね賛同意見割合が高い状況。

○対策案選定時に配慮すべき事項の賛同意見割合をみると、すべての項目で利用頻度が高いほど、概ね賛同意見割合が高い状況。

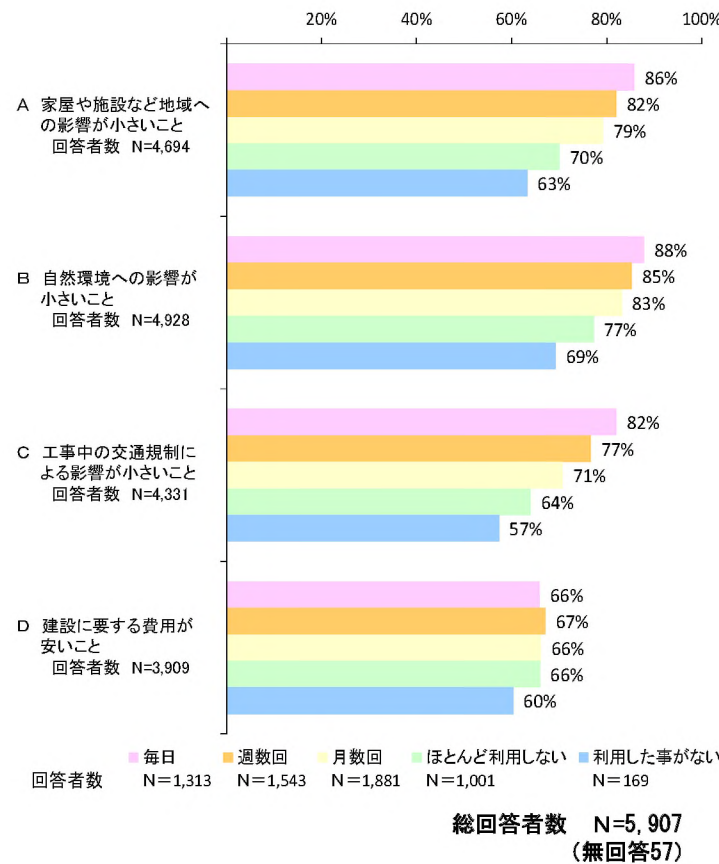
○インターチェンジに配慮すべき事項の賛同意見割合をみると、すべての項目で利用頻度が高いほど、概ね賛同意見割合が高い状況。

▼対策案選定時に重視すべき事項の賛同意見割合



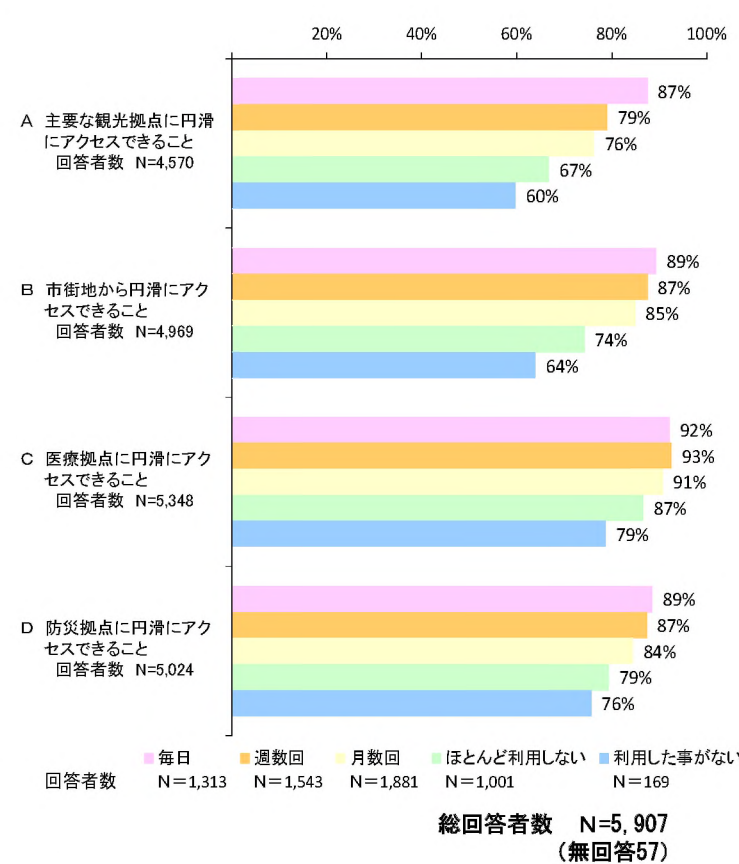
「特に重視すべき」または「やや重視すべき」と回答した回答者の割合

▼対策案選定時に配慮すべき事項の賛同意見割合



「特に配慮すべき」または「やや配慮すべき」と回答した回答者の割合

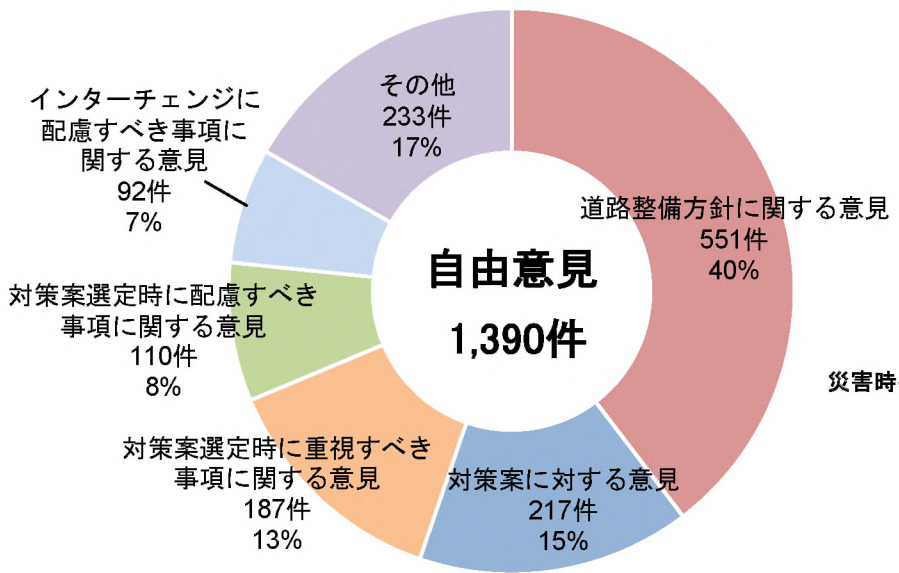
▼インターチェンジに配慮すべき事項の賛同意見割合



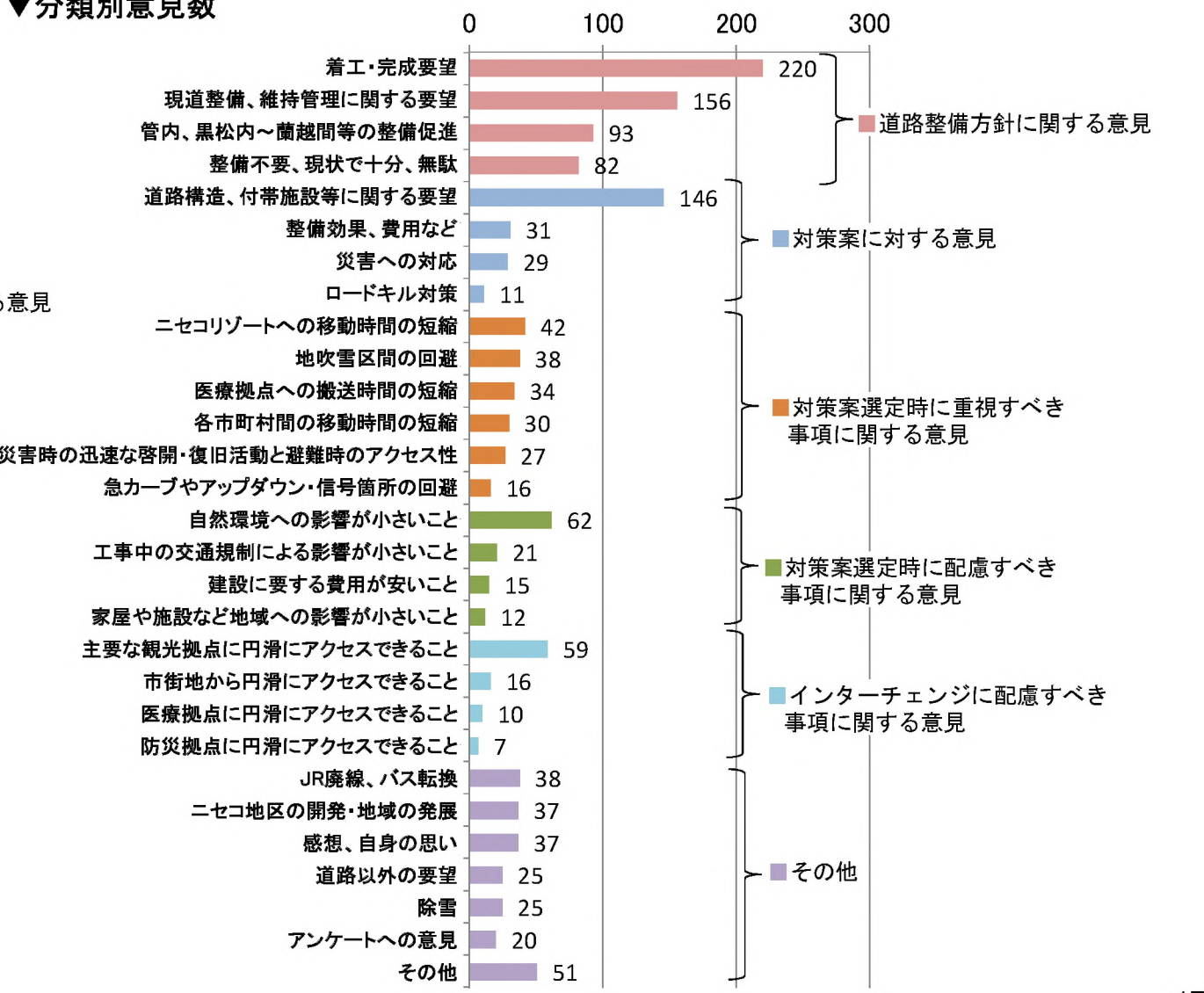
2-10) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(自由回答 その①)

○自由意見の記述では、「道路整備方針に関する意見」が4割と最も多く、「対策案に対する意見」が約2割、「対策案選定時に重視すべき事項に関する意見」、「対策案選定時に配慮すべき事項に関する意見」が約1割寄せられた。

▼自由意見の内容内訳



▼分類別意見数



2-11) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(自由回答 その②)

- 対策案選定時に重視すべき事項では、「ニセコリゾートや医療拠点への時間短縮」、「地吹雪区間の回避」に関する意見が多く寄せられた。
- 対策案選定時に配慮すべき事項では、「自然環境への影響が小さいこと」に対する意見についての意見が多く寄せられた。
- インターチェンジに配慮すべき事項では、「主要な観光拠点へのアクセス性」についての意見が多く寄せられた。

▼主な意見（対策案選定時に配慮すべき事項に関する意見ほか）

分類		主な意見
対策案選定時に重視すべき事項に関する意見	ニセコリゾートへの移動時間の短縮(42件)	・札幌とニセコが全線高速道路でつながり時間短縮されることで、新しい周遊観光ルートを形成できる。(居住地不明/30代男性/オーストラリア国籍) ・新千歳空港からの移動時間を短縮すると、ニセコの観光産業の発展を促進します。(居住地不明/40代男性/台湾国籍)
	地吹雪区間の回避(38件)	・冬期間の吹雪による視界不良時には、低速走行や外出を控えることがあり、早く安全に商業施設や病院へ行ける道路が必要。(蘭越町/50代女性) ・豪雪地帯であるため雪による影響はやむを得ないが、移動時間の短縮や安全性を確保した道路を利用したい。(ニセコ町/50代男性)
	医療拠点への搬送時間の短縮(34件)	・夜間や荒天時は、ドクターヘリでは無く救急車で搬送となるため、倶知安厚生病院に迅速にアクセスできる別線整備ルートを支持する。(蘭越町/50代男性) ・高次医療施設への救急搬送が、少しでも時間が短縮され安全に搬送できる道路が必要。(蘭越町/40代男性)
	各市町村間の移動時間の短縮(30件)	・各町村を結ぶ高速道路は、地域間交流を促進し交流が増えることで地域の発展につながる。(黒松内町/30代男性) ・高規格道路ができる事で倶知安町に集中している大型店舗への買い物やニセコリゾートへの通勤、倶知安厚生病院への通院の移動時間が短縮され、便利になる。(蘭越町/40代女性)
	災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性(27件)	・冬期間は、豪雪地帯特有の災害級に匹敵する深雪や吹雪による視界不良で、走行不能といった障害が発生するため災害時に機能する道路が必要。地域住民としては、早期整備、開通を切に望みます。(黒松内町/60代男性) ・黒松内ジャンクションまで延伸すると、後志自動車道と道央自動車道で環状道路が形成され、有珠山噴火などの自然災害時の代替性も確保できることから、早期の整備をお願いしたい。(黒松内町/40代男性)
	急カーブやアップダウン・信号箇所の回避(16件)	・雪の多い地域のうえ、当該区間はアップダウンやカーブも多いため、事故の危険があり安全・安心な道路が必要。(蘭越町/50代女性)
対策案選定時に配慮すべき事項に関する意見	自然環境への影響が小さいこと(62件)	・便利になるのは大変ありがたいが、自然・環境・動物への影響を極力抑制して整備することを願います。(蘭越町/40代女性) ・環境保全のため、自然や景観を損ねないように工事を実施して欲しい。(ニセコ町/30代女性)
	工事中の交通規制による影響が小さいこと(21件)	・現道工事期間の交通規制による渋滞は、事業中のマイナス整備効果であるため、別線整備が望ましい。(黒松内町/40代男性)
	家屋や施設など地域への影響が小さいこと(15件)	・住宅地は極力回避し、住宅地近傍に道路が通る場合は、騒音対策を実施すべき。(倶知安町/70代男性)
	建設に要する費用が安いこと(12件)	・この高速道路プロジェクトは、ニセコ地域と日本の経済にとって大きな効果があるため、建設コストが上昇したとしても整備すべきです。(居住地不明/20代男性/オーストラリア国籍) ・建設費用は安いことが良いが、必要な道路機能を確保した上で安い道路整備をして欲しい。(倶知安町/40代女性)
インターチェンジに配慮すべき事項に関する意見	主要な観光拠点に円滑にアクセスできること(59件)	・レジャー目的で利用するため、ニセコリゾートへのアクセスしやすい位置にインターチェンジが必要。(札幌市/40代男性) ・観光施設へ宅配便の配達が多いため、リゾートエリアを行き来しやすい位置にインターチェンジがあると助かる。(倶知安町/30代男性)
	市街地から円滑にアクセスできること(16件)	・JR廃線が決まっており、市街地間の移動は道路に依存するため、インターチェンジは市街地にアクセスしやすい方が良い。(蘭越町/50代男性)
	医療拠点に円滑にアクセスできること(10件)	・住民にとって、市街地から倶知安厚生病院まで早期に到着し、処置を受けることが重要。(ニセコ町/30代女性)
	防災拠点に円滑にアクセスできること(7件)	・災害時に機能する防災道の駅「ニセコビュープラザ」へのアクセスに配慮すべき。(ニセコ町/40代女性)
その他	整備不要、現状で十分、無駄(82件)	・ニセコリゾート開発と観光客のために、高規格道路を整備するべきではない。(倶知安町/20代女性/イギリス国籍) ・現在も十分良い道路である。ゆずり車線を適当な間隔で設ければ十分と考える。(蘭越町/60代女性) ・自然や景観が悪くなるため、住んでいる人に何も利益も無い。(ニセコ町/60代男性)

2-12) 第2回地域意見聴取の結果 アンケート調査(自由回答 その③)

- 道路整備方針に関する意見では、「着工・完成要望」、「現道整備、維持管理に関する要望」に関する意見が多く寄せられた。
- 対策案に対する意見では、「道路構造、付帯施設等に関する要望」に関する意見が多く寄せられた。

▼主な意見（道路整備方針に関する意見ほか）

分類		主な意見
道路整備方針に関する意見	着工・完成要望(220件)	・国際的リゾートニセコ地域は、コロナ禍でも開発が続いており更なる発展に寄与する高速道路に早期着手すべき。(倶知安町/50代男性) ・新千歳空港までの高速道路がつながると、ニセコ地域のリゾート開発加速や集客に良い影響を与える。(居住地不明/30代男性/イギリス国籍) ・高速道路整備により、ニセコへの観光目的の人は高速道路利用するため、倶知安町内で発生している観光交通の増加による渋滞の緩和になるため、ぜひ整備していただきたい。(倶知安町/30代女性) ・商業施設や医療拠点などに迅速かつ確実に到着することは、私たちの生活に必要。(居住地不明/20代女性/オーストラリア国籍) ・札幌に生産物の配達をする時、毎回余市から札幌まで高速道路を利用します。蘭越町まで高速道路を延伸し、札幌まで早く安全に配達できるようにしてほしい。(蘭越町/50代男性)
	現道整備、維持管理に関する要望(156件)	・既存国道で狭い部分があるので、拡幅整備に力を入れて下さい。(蘭越町/70代男性) ・国道5号では速度低下による混雑が生じており、右折レーンや車道拡幅を実施してほしい。(倶知安町/50代女性) ・雪融け時の舗装補修は、早い時期に補修してほしい。(蘭越町/60代男性) ・現道の排雪頻度を増やしてほしい。(倶知安町/50代男性)
	管内、黒松内～蘭越間等の整備促進(93件)	・最終的に黒松内まで延伸されることで、地域産業の活性化や地域住民の医療面におけるアクセスの改善が図られ、地方で生活していても安心・安全な環境を提供できるので、早期の整備を期待します。(岩内町/50代男性) ・黒松内までつながると、道南地方に行く複数のルートが確保できて、後志以外の札幌圏の方々も多く利用できる。(小樽市/50代男性)
対策案に対する意見	道路構造、付帯施設等に関する要望(146件)	・冬期は特に外国人やご高齢の方などが低速走行することが多いので、追い越し車線等を検討してほしい。(倶知安町/20代男性) ・高規格道路の中央分離帯は、正面衝突が防げるガードレール、ガードロープが望ましい。(倶知安町/40代男性) ・吹雪時にも運転しやすいように、防雪柵や誘導灯などの設置が必要。(倶知安町/60代男性)
	整備効果、費用など(31件)	・道路などのインフラは長期間にわたり北海道全体への経済、安全、物流など多岐にわたる影響を与えることから、初期コストのみにとらわれることなく高規格道路としての機能など長期的な整備効果をもたらすようにしてほしい。(黒松内町/40代男性)
	災害への対応(29件)	・通常時は基より、災害時でも道路が安全かつ確実に運転できることを願う。(倶知安町/30代女性)
	ロードキル(11件)	・シカとの事故が多く、道路への動物の侵入を防いでほしい。(倶知安町/40代男性)

2-13) 第2回地域意見聴取の実施状況(ヒアリング調査)

○沿道自治体・関係団体に対して、対策案の検討にあたって重視すべき事項、対策案の比較にあたって配慮すべき事項、インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって配慮すべき事項について、ヒアリング調査を実施。

■意見聴取内容

- 問1：対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきか
問2：対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮し計画すべきか
問3：インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきか
問4：その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備の意見等について（自由意見）

■実施状況

調査対象			実施箇所
沿線自治体等			8箇所
関係団体	産業団体	商工会議所・商工会	7箇所
		農水産業関連	2箇所
		運輸	4箇所
		観光・バス・タクシー	9箇所
	医療・消防	消防	2箇所
		病院	4箇所
合計			36箇所



沿線自治体



観光協会



商工会



運輸



観光振興機構



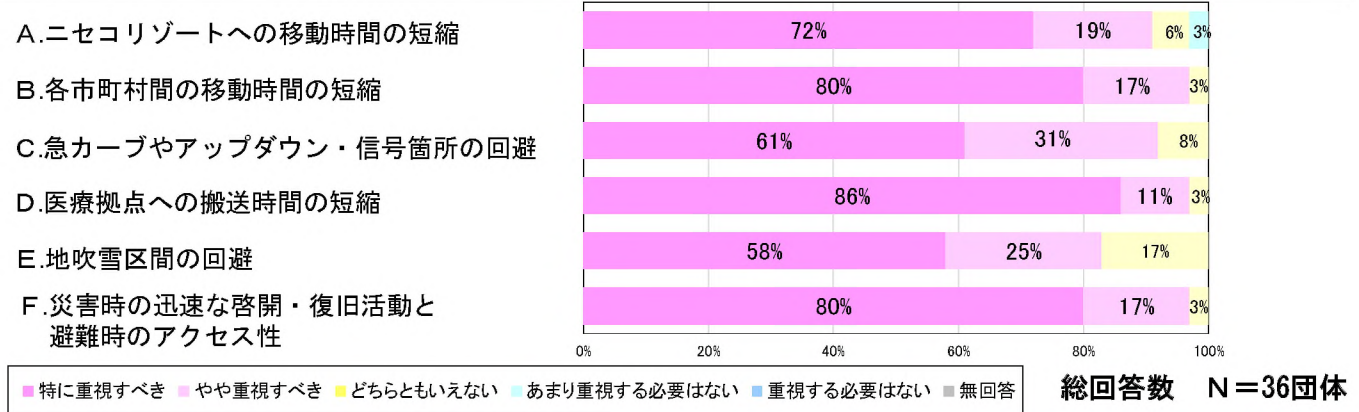
病院

2-14) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(対策案選定時に重視すべき事項)

○対策案選定時に重視すべき事項については、すべての項目に対して8割以上が重視すべきと感じている。
○特に、「ニセコリゾートへの移動時間の短縮」、「各市町村間の移動時間の短縮」、「急カーブやアップダウン・信号箇所の回避」、「医療拠点への搬送時間の短縮」、「災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性」を重視すべきとの意見が9割以上と多い。

▼対策案選定時に重視すべき項目

- 問1. 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？
- A. ニセコリゾートへの移動時間の短縮
 - B. 各市町村間の移動時間の短縮
 - C. 急カーブやアップダウン・信号箇所の回避
 - D. 医療拠点への搬送時間の短縮
 - E. 地吹雪区間の回避
 - F. 災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性



▼選択した項目が重要だと思う理由

項目	主な意見
A. ニセコリゾートへの移動時間の短縮	・倶知安町、ニセコ町、蘭越町の3町で『ニセコ観光圏』として連携し、国内外観光客へのPR活動を実施しており、コロナ収束後の観光客の回復を見据え、 観光需要が期待されるニセコリゾートへのアクセス性向上が最重要。 (商工会議所・商工会) ・ニセコ観光圏として観光地に立ち寄ってもらうためには、 ニセコリゾートや周辺の施設間の移動時間短縮は重要 と思う。(観光協会)
B. 各市町村間の移動時間の短縮	・労働時間の規制もあり輸送時間の短縮や定時性の確保が必要である。(トラック協会) ・冬期は積雪等による路面の悪化や幅員が狭くなるため、蘭越町やニセコ町等からの倶知安厚生病院までの通院者も多く、 通院の利便性を向上させるためにも移動時間の短縮が必要。 (病院)
C. 急カーブやアップダウン・信号箇所の回避	・蘭越～倶知安間はカーブが続く区間では荷崩れが発生しやすく、 勾配がきつい区間では冬期にスタックが発生するため回避が必要。 (運輸事業者) ・国道5号においては、 蘭越町昆布～ニセコにかけてカーブや急な坂道があり、信号交差点の多い市街地での減速・加速をするたび振動や揺れが発生し、患者への負担がある。 (消防本部)
D. 医療拠点への搬送時間の短縮	・ニセコ町、蘭越町の患者は、倶知安厚生病院に搬送されることが多いため、高速道路の整備により 搬送時間が1分でも短縮されれば助かる命が増える。 (病院) ・蘭越～倶知安間においては、特に冬期の市街地の道路幅が狭く、 追越しが出来る箇所が少ないため、緊急走行時に思うように走行できない場合がある。一般車両を追い抜く際には揺れや振動を抑えるため、走行速度が20～30km/h程度遅くなることから、高規格道路でわずかな時間でも搬送時間が短縮されることに期待。 (消防本部) ・ニセコ町や蘭越町には脳神経外科や循環器科がなく、当該疾患は倶知安厚生病院に依存しており、 救急搬送のみならず通院者も多く、医療機関へのアクセス性向上が重要。 (自治体)
E. 地吹雪区間の回避	・蘭越市街～倶知安厚生病院までは、夏季であれば概ね25分程度で走行できるが、 ホワイトアウトや吹き溜まりにより、搬送時間が通常より15～20分長くなる場合がある。そのような状況でも安定した搬送経路を確保するため、蘭越倶知安間の道路整備が必要である。 (消防本部)
F. 災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性	・有珠山噴火や集中豪雨による大規模浸水に備え、 災害時避難や啓開・復旧活動のライフラインとなる高規格道路の整備が必要。 (商工会議所・商工会) ・倶知安厚生病院は 災害拠点病院であり、災害発生時には、物資の受取拠点となり重要な役割を果たす。必要物資の円滑な輸送のため、高速道路整備によるルート確保とアクセス向上は非常に重要。 (病院)

2-15) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(対策案選定時に配慮すべき事項)

○対策案選定時に配慮すべき事項については、「建設費に要する費用が安いこと」に対して約1割が配慮すべきと感じ、それ以外の項目に対して8割以上が配慮すべきと感じている。

○特に、「自然環境への影響が小さいこと」、「工事中の交通規制による影響が小さいこと」に配慮すべきとの意見が9割以上と多い。

▼対策案選定時に配慮すべき事項

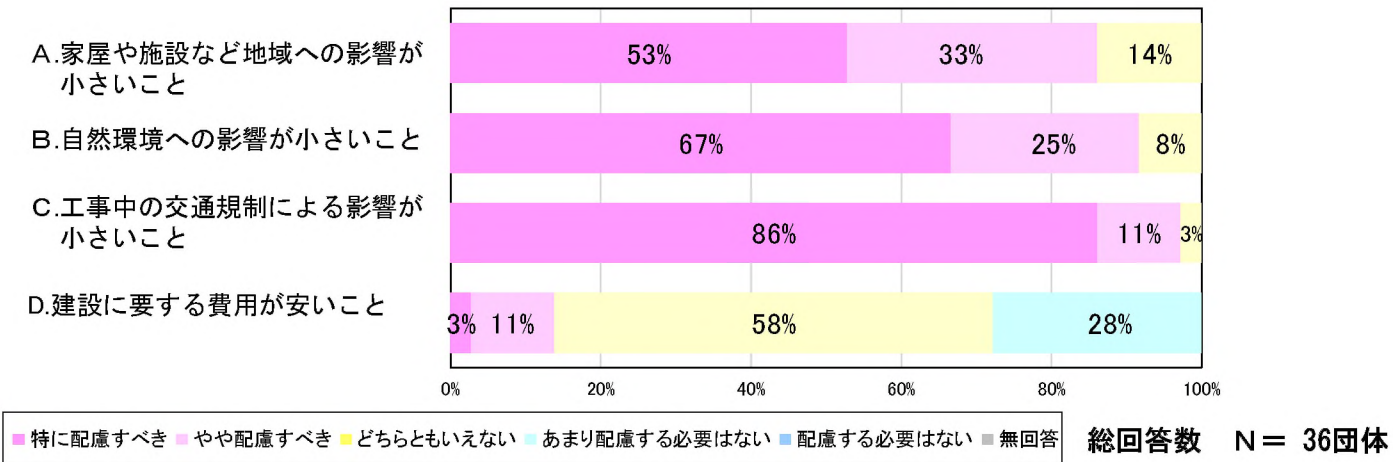
問2. 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

A. 家屋や施設など地域への影響が小さいこと

B. 自然環境への影響が小さいこと

C. 工事中の交通規制による影響が小さいこと

D. 建設に要する費用が安いこと



▼選択した項目が重要だと思う理由

項目	主な意見
A. 家屋や施設など地域への影響が小さいこと	・地域住民等への負担は避けられないが、可能な範囲で家屋や施設を回避するように配慮するなどの検討が必要と思われる。(自治体) ・地域の産業の基盤となる農地をできるだけ回避して欲しい。(自治体)
B. 自然環境への影響が小さいこと	・当該地域は、ニセコ連峰に点在する景勝地などの「自然」が重要な地域特性のため自然環境の保全への配慮が必要である。(観光協会) ・ニセコ地域は羊蹄山麓の自然環境や景観の保全が重要である。(商工会議所・商工会)
C. 工事中の交通規制による影響が小さいこと	・現国道は生活道路の役割を担っており、<u>長期的な交通規制は地域住民や経済活動への悪影響が大きい</u>ため回避することが望ましい。(商工会議所・商工会) ・交通規制により速達性が確保できないことで<u>運転手の拘束時間が延び、効率的な輸送にとって悪影響が大きい</u>。(トラック協会) ・交通規制や迂回により<u>路線バスの乗降場所の変更や運行時間がかかるなど、地域の日常生活に影響が出る</u>。(バス会社) ・蘭越方面から倶知安厚生病院へ救急搬送される際、<u>長期間に及ぶ交通規制は救急搬送にとって悪影響が大きい</u>。(病院)
D. 建設に要する費用が安いこと	・<u>建設コストの削減は重要であるが、アクセス性や走行時間短縮などの効果・便益を含めた総合的な判断が必要</u>である。(自治体) ・救急医療では、搬送時間が短縮されたり、安全に搬送ができれば、助かる命が増えることから、高速道路の移動時間の短縮や安定性などが十分発揮できるようにすべきであり、<u>コストが高くても別線整備が望ましい</u>。(病院)

2-16) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(インターチェンジに配慮すべき事項)

○インターチェンジに配慮すべき事項の重視度については、すべての項目に対し9割以上が配慮すべきと感じている。

○中でも、「主要な観光拠点に円滑にアクセスできること」、「市街地から円滑にアクセスできること」、「医療拠点に円滑にアクセスできること」に配慮すべきとの意見が多い。

▼インターチェンジとのアクセスの検討にあたって配慮すべき事項

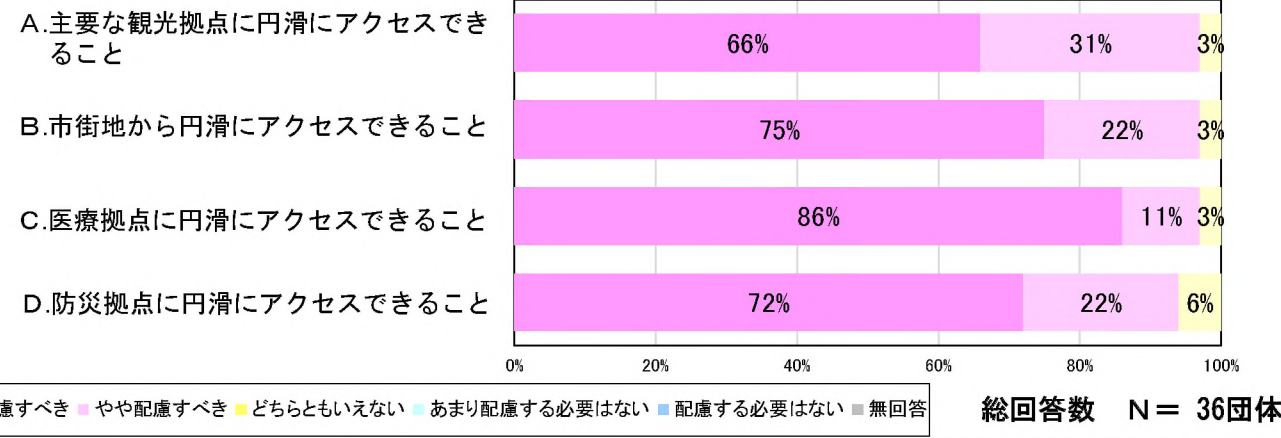
問3. インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

A. 主要な観光拠点に円滑にアクセスできること

B. 市街地から円滑にアクセスできること

C. 医療拠点に円滑にアクセスできること

D. 防災拠点に円滑にアクセスできること



▼選択した項目が重要だと思う理由

項目	主な意見
A. 主要な観光拠点に円滑にアクセスできること	・ニセコリゾートのみならず、観光案内所や多様な土産品があり、年間70万人が訪れる観光施設である道の駅ニセコビュープラザへのアクセス性向上も必要である。(観光協会) ・市街地のホテル発着するが市街地や観光拠点へのアクセス性が良いと、多くの観光拠点を周遊することが可能となる。(バス会社) ・スキー場での骨折患者などの救急搬送では、インターチェンジが観光地に近い方が市街地の混雑を回避できて早期に治療が可能となる。(病院)
B. 市街地から円滑にアクセスできること	・路線バスや貸切バスとしては、市街地に円滑にアクセスできれば所要時間、走行距離を抑えることが出来る。(バス会社) ・後志地域に配送する荷物は石狩の物流センターに集積し、後志自動車道・国道5号を経由して輸送している。輸送の目的地は市街地にあるため、市街地への円滑なアクセスは重要。(運送事業者)
C. 医療拠点に円滑にアクセスできること	・豪雪地域である後志地域は、悪天候によるドクターヘリの出動が困難となる場合があるため、通年で救急車搬送の速達性、安全性の確保が必要。(自治体) ・蘭越町やニセコ町から倶知安厚生病院への救急搬送が多いが、患者が早期に高度治療を受けれることにより傷病者の予後や救命率の向上につながるため病院への搬送時間短縮は重要。(消防本部) ・救急搬送のみならず、ニセコ町や蘭越町などからの通常の通院、職員の緊急時の通勤にとっても重要。(病院)
D. 防災拠点に円滑にアクセスできること	・防災拠点として位置付けされている防災道の駅ニセコビュープラザにアクセスしやすいインターチェンジが望ましい。(自治体) ・災害時は陸上自衛隊に啓開・復旧活動支援の要請を考えているが、尻別川の洪水氾濫時には倶知安インターチェンジへのアクセスが出来ないことも想定されるため、迅速な災害派遣のためには倶知安駐屯地の周辺にもインターチェンジの整備が必要(自治体)。 ・倶知安厚生病院は災害拠点病院であり、災害発生時には、傷病者の受入れや物資の受取拠点となり、重要な役割を果たす。円滑な必要物資がすぐ届く位置に設置が望ましい。(病院)

2-17) 第2回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(その他配慮すべき項目や意見)

○その他配慮すべき項目や意見として、物流、観光、医療、防災等の観点から様々な意見が寄せられた。

問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

分類	主な意見
その他配慮すべき事項に関する意見	・一定速度で走ることによる燃費の抑制と時間短縮による燃料節約が可能となり経費削減につながるため、物流にとって高速道路整備は重要である。(運輸事業者) ・当消防本部ではタンク車3台、ポンプ車4台、小型ポンプ車4台等を所有している。多様な災害に対して消防組合として対応するため、救急車だけではなく火災発災などは、倶知安町のほか蘭越町、ニセコ町、真狩村などに町村境界を越えて出動するため、現場到着時間の短縮と緊急走行時の安全性向上に期待する。(消防本部) ・高速道路は、鹿などの動物の侵入も少ないため安全性が高く、確実に目的地に荷物を輸送確保できるので、別線整備を望んでいる。(運輸事業者) ・ニセコの長期滞在者はニセコから札幌や小樽へ観光周遊するお客様もあり、高規格道路が延伸されれば安全に早く目的地に到着できる。(タクシー事業者) ・コロナも明け、コロナ以前と同じような規模でイベントを計画している。倶知安町内で開催されるイベント「くっちゃんじゃが祭り」では、札幌市や小樽市、函館市からの来客があり、高速道路が延びアクセスしやすくなれば、イベントの参加者も増加し地域の活性化につながると思う。(商工会)
今後の道路整備に関する意見	・広域的な交通ネットワークとして黒松内まで繋げて大環状を形成することは、後志地域の発展に必要不可欠である。(自治体) ・働き方改革で、トラック業界2024問題の解決として高規格道路の拡充による移動時間の短縮、定時性の確保がある。北海道はまだ整備率が低いので、整備を希望する。(トラック協会) ・インバウンドの来訪が回復傾向にあり、ニセコリゾートへのスキー観光客も回復してきているが、スキー場では円安の影響もあって深刻な従業員不足で、宿泊施設が全部屋稼働できない事態が生じている。より広域から従業員を確保するためにも、道路交通網の整備は重要。(自治体) ・まだまだ観光として活かせるところが出てくる地域である。高規格道路の延伸を見据え、地域の魅力作りを自治体と考えていく。(観光協会) ・当該農協では、倶知安から函館のフェリーを経由し出荷も行っており、今後ドライバーの勤務時間問題もますます厳しくなってくるため、黒松内までの早期整備を強く望んでいる。(農業協同組合) ・鉄道を廃線しバス転換の議論が進められているが、バス運転手不足もあり後志地域全体の大きな課題となっている。高規格道路の整備後は、高規格道路をバスが自動運転することで、運転手不足の課題解消になることを期待。(自治体) ・現在の医療従事者は町内在住者で賄えているが、今後過疎化が進むと町外からの募集も必要になってくる可能性がある。地域の医療を確保するため、市町村間を結ぶ高速道路が整備されれば安全に短時間で通勤できるようになる。(病院) ・高速道路が延伸し安全で快適なルートが整備されることで、町外からの通勤がしやすくなり医師の確保がしやすくなることを期待。(病院)

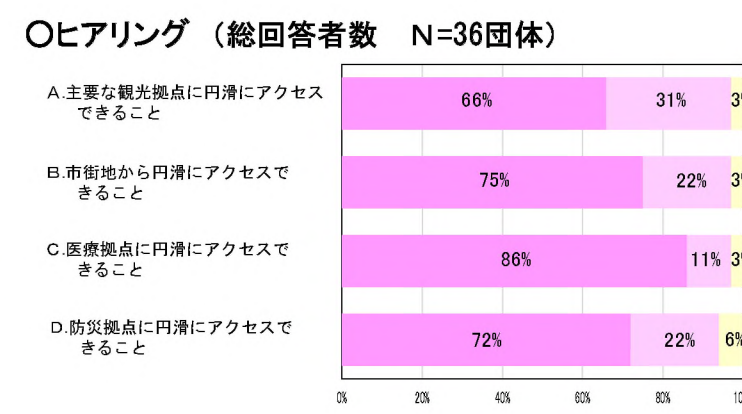
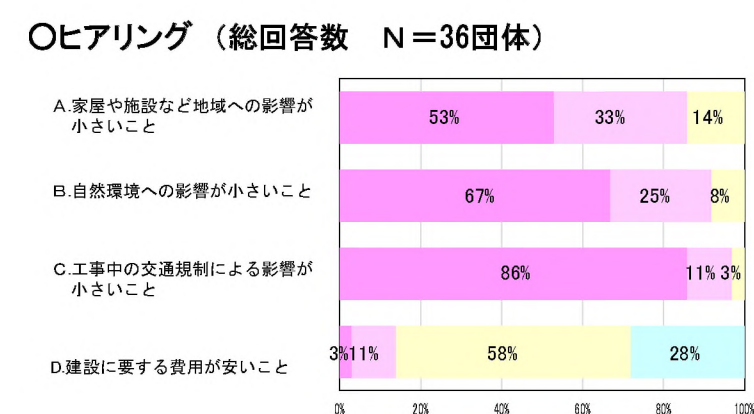
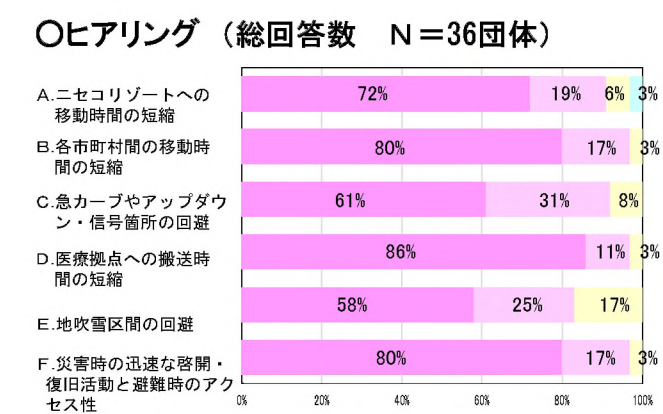
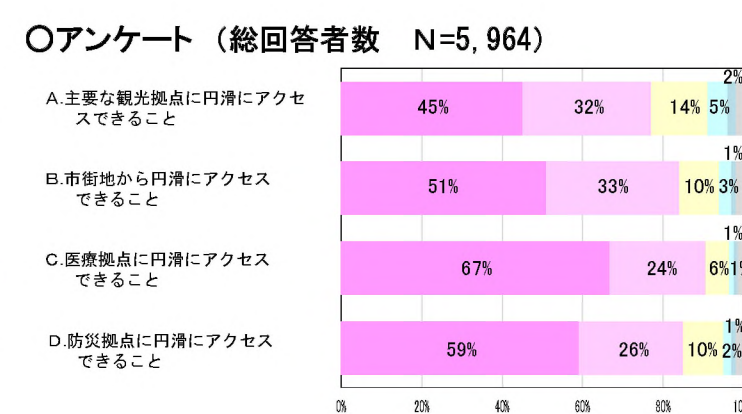
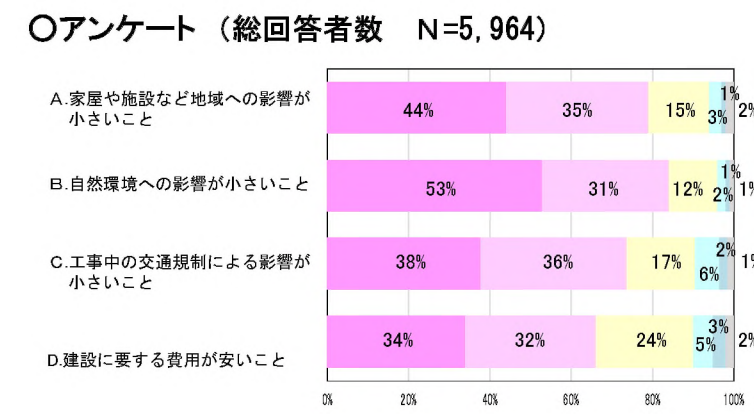
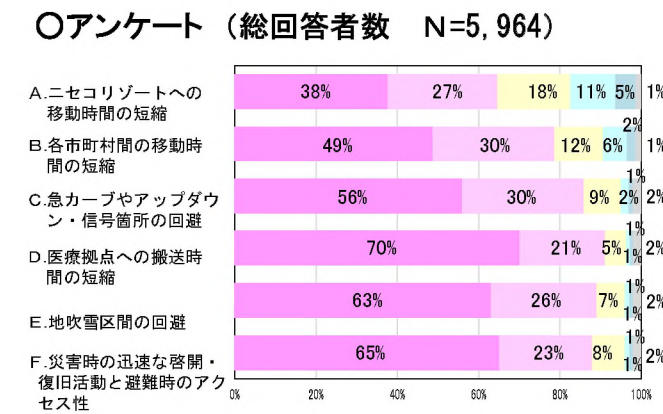
2-18) 第2回地域意見聴取(アンケート・ヒアリング)結果のまとめ

○第2回意見聴取の結果、対策案(ルート帯案)の検討・比較にあたって、対策案選定時に重視・すべき事項等について確認。また、対応方針(案)の検討にあたって、インターチェンジに配慮すべき事項について確認。

▼対策案選定時に重視すべき事項

▼対策案選定時に配慮すべき事項

▼インターチェンジに配慮すべき事項



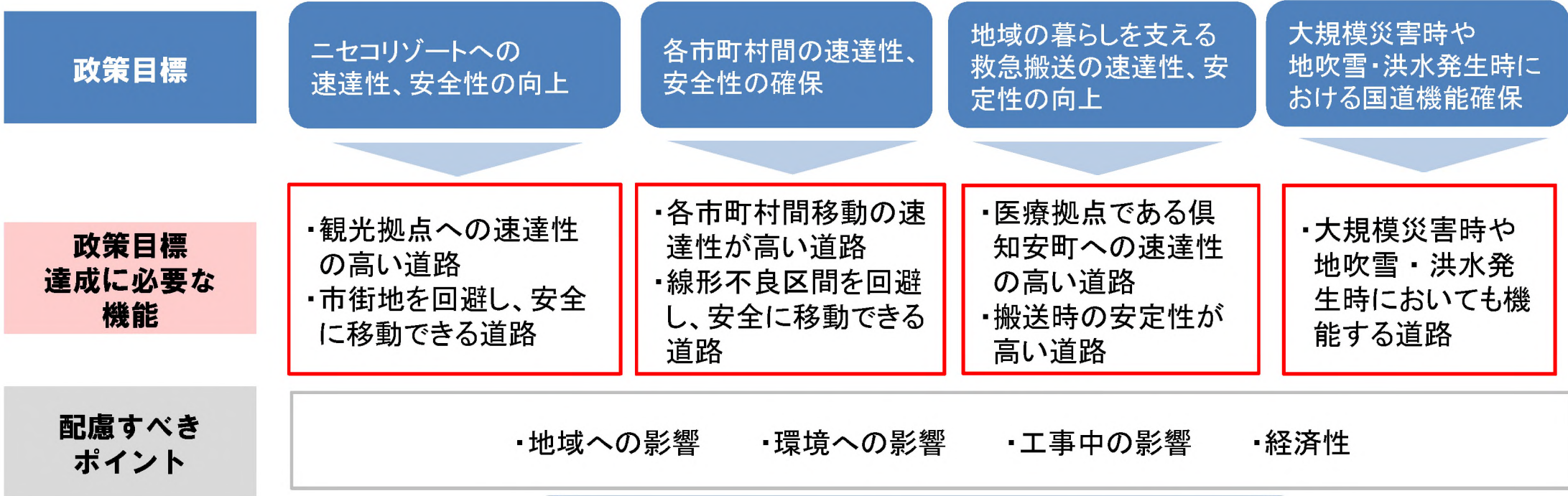
■ 特に重視・配慮すべき ■ やや重視・配慮すべき ■ どちらともいえない ■ あまり重視・配慮する必要はない ■ 重視・配慮する必要はない ■ 無回答

アンケート、ヒアリング結果から路線の対応方針案及びインターチェンジ位置について検討

3. 対応方針（原案）の検討

3-1) 路線の対策案の考え方

○第2回地方小委員会までに、蘭越～倶知安間における政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような2つの対策案を設定。

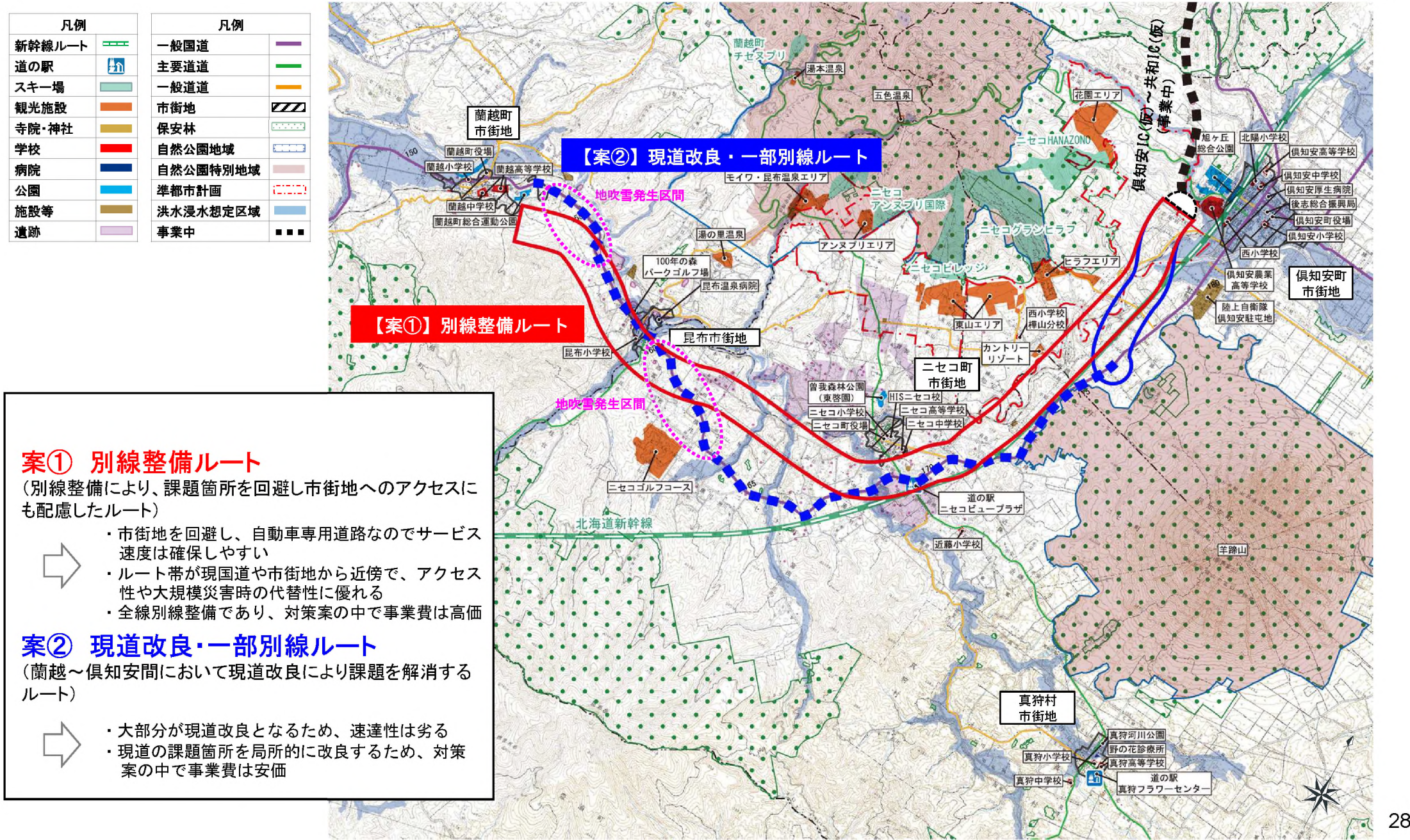


2つの対策案と整備イメージ



3-2) 対策案の概要

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から2つの対策案を設定。



3-3) 対策案の比較評価

対策案の考え方			案① 別線整備ルート		案② 現道改良・一部別線ルート	
			別線整備により課題箇所を回避し、市街地へのアクセスに配慮したルート		蘭越市街地～倶知安市街地において、別線整備及び現道改良により課題を極力解消するルート	
整備イメージ						
区間延長			約25km(自動車専用道路)		約28km(自動車専用道路+現道改良)	
政策目標	ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上	観光拠点への速達性	・(仮称)倶知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果がある (倶知安IC～ひらふエリア 現況13分→8分 5分短縮) (倶知安IC～東山エリア 現況25分→20分 5分短縮)	○	・(仮称)倶知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果がある (倶知安IC～ひらふエリア 現況13分→11分 2分短縮) (倶知安IC～東山エリア 現況25分→24分 1分短縮)	○
		移動時の安全性	・事故が多発している倶知安市街地やニセコ市街地への交差点を回避できるが、蘭越市街地は回避できない。(3箇所→1箇所)	○	・事故が多発している倶知安市街地を回避できるが、蘭越市街地とニセコ市街地への交差点は回避できない。(3箇所→2箇所)	△
	各市町村間の速達性、安全性の確保	各市町村間移動の速達性	・蘭越町～ニセコ町～倶知安町間の時間短縮効果がある (現況49分→38分 11分短縮)	○	・蘭越町～ニセコ町～倶知安町間の時間短縮効果がある (現況49分→41分 8分短縮)	○
		移動時の安全性	・線形不良(縦断勾配隘路)区間の回避 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況 3区間→0区間)	◎	・現道改良で線形不良(縦断勾配隘路)区間の対策を実施 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況 3区間→0区間)	◎
	地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上	高次医療機関への速達性	・蘭越市街地～倶知安厚生病院までの時間短縮効果が大い (蘭越町～倶知安厚生病院 現況45分→30分 15分短縮)	◎	・蘭越市街地～倶知安厚生病院までの時間短縮効果が他案に比べ小さい (蘭越町～倶知安厚生病院 現況45分→36分 9分短縮)	○
		搬送時の安定性	・線形不良(縦断勾配隘路)区間、蘭越市街地～倶知安厚生病院間の信号交差点を回避 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況 3区間→0区間) (信号交差点 現況 23箇所→12箇所)	○	・別線整備により蘭越市街地～倶知安厚生病院間の信号交差点を5箇所回避し、線形不良(縦断勾配隘路)区間の現道改良を実施 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況3区間→0区間) (信号交差点 現況 23箇所→18箇所)	△
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保	地吹雪やスタックに対する国道機能確保	・地吹雪発生区間やスタック発生箇所を回避 (地吹雪 現況2区間→0区間、スタック 現況2箇所→0箇所)	◎	・スタック発生箇所は現道改良で解消するが、地吹雪発生区間の交差点部で防雪対策ができない。(地吹雪 現況2区間→1区間、スタック 現況2箇所→0箇所)	○
		洪水に対する国道機能の確保	・洪水浸水想定区域を回避し、確実に通行可能 (洪水浸水想定区域 現況4.0km→0km (4.0km回避))	◎	・現道の嵩上げにより洪水浸水を縦断的に回避し、確実に通行が可能であるほか、道路空間を緊急避難所として活用可能 (洪水浸水想定区域 現況4.0km→0km(3.5km回避、0.5km嵩上げ))	◎
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	・市街地を極力回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は案②より小さい	○	・現道の市街地部分を含め改良するため、沿道家屋や土地利用への影響が非常に大きい	△
	環境への影響	自然環境への影響	・地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	○	・延長の大部分を現道改良するため、自然環境への影響は小さい	◎
	工事中的影響	工事中的の現道交通への影響	・別線整備のため、工事中的の現道交通への影響は小さい	◎	・国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい	△
	経済性	経済性・概算事業費	・全線別線整備であり、案②より経済性で劣る 約1,000～1,200億円	△	・現道改良の延長が長く、経済性で優位 約900～1,050億円	○

※ 1 上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

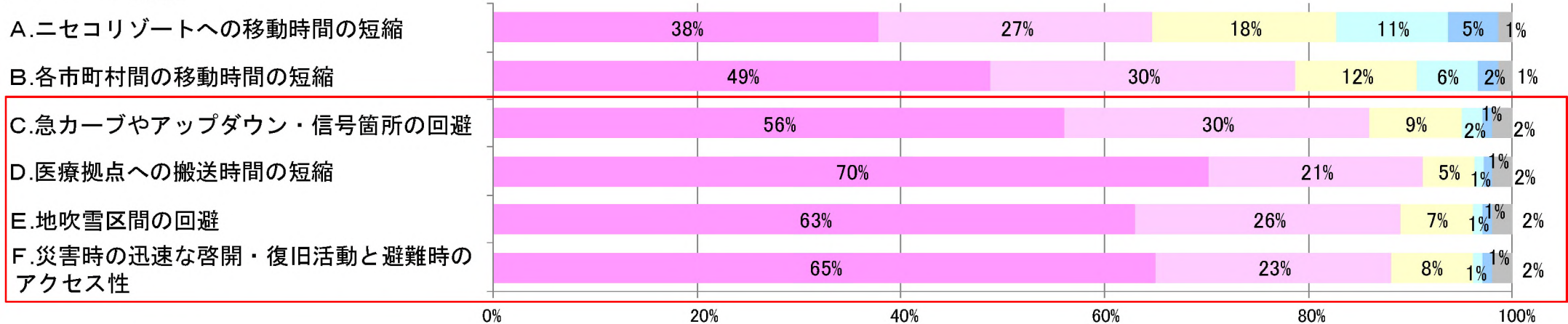
※ 2 比較表の評価は、現時点で想定される概ねのルート評価を一般的な目安として記載 【凡例】◎: 効果が大きい/影響が小さい、○: 効果が比較的大きい/影響が比較的小さい、△: 他案に比べ劣る

3-4) 対策案の比較評価(対策案選定時に重視すべき事項)

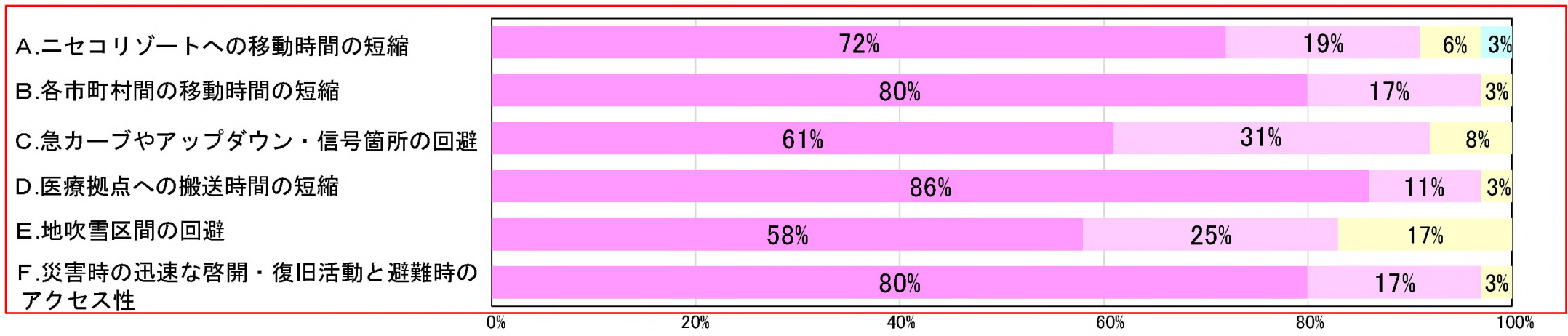
○対策案選定時に重視すべき事項について、すべての項目に対しアンケート結果では6割以上、ヒアリング結果では8割以上が重視すべきと回答。

○「急カーブやアップダウン・信号箇所の回避」、「医療拠点への搬送時間の短縮」、「地吹雪区間の回避」、「災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性」の項目は、アンケート及びヒアリング双方で8割以上が重視すべきと回答。

▼アンケート調査



▼ヒアリング調査

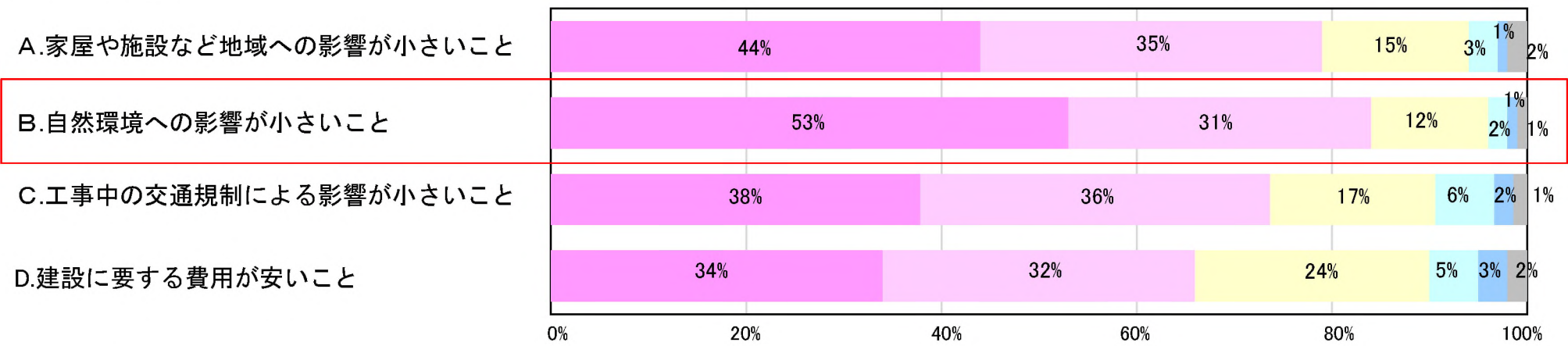


■特に重視すべき ■やや重視すべき ■どちらともいえない ■あまり重視する必要はない ■重視する必要はない ■無回答

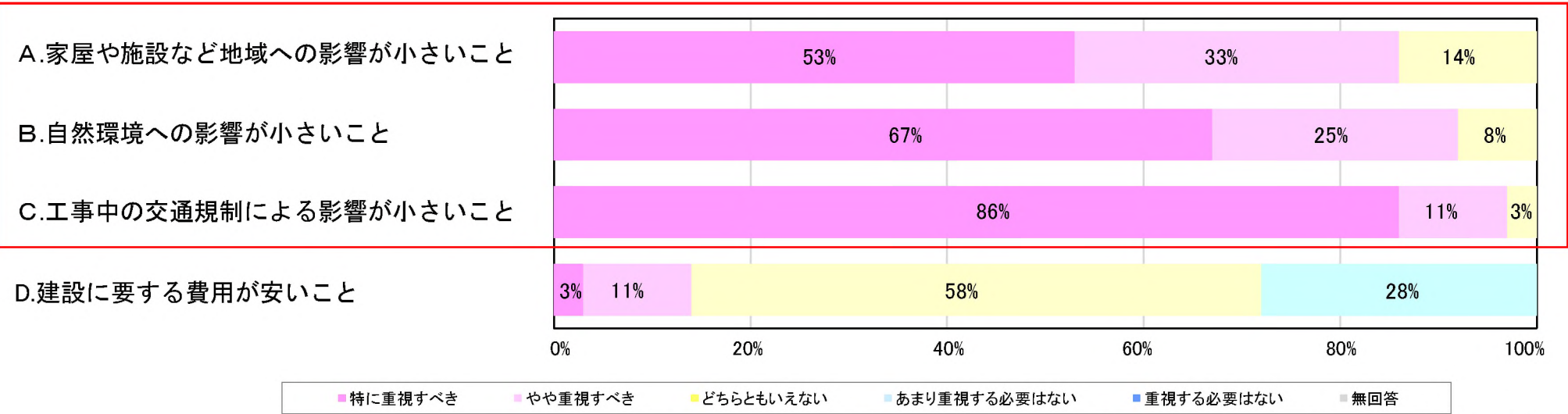
3-5) 対策案の比較評価(対策案選定時に配慮すべき事項)

○対策案選定時に配慮すべき事項については、すべての項目に対しアンケート結果では6割以上が配慮すべきと回答し、ヒアリング結果では「建設に要する費用が安いこと」以外の項目で8割以上が配慮すべきと回答。
○「自然環境への影響が小さいこと」の項目は、アンケート及びヒアリング双方で8割以上が配慮すべきと回答。

▼アンケート調査

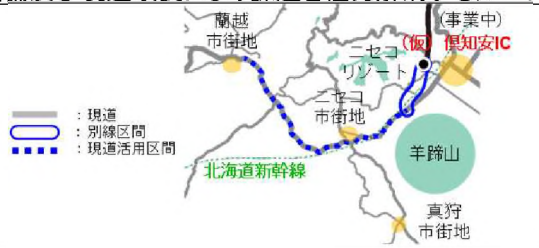


▼ヒアリング調査



※A～Fの6つの設問のうち、「特に重視すべき」と「やや重視すべき」の割合が8割以上の項目を選定し、赤枠で表示

3-6) 対応方針(原案)の検討

対策案の考え方			案① 別線整備ルート		案② 現道改良・一部別線ルート		
			別線整備により課題箇所を回避し、市街地へのアクセスに配慮したルート		蘭越市街地～倶知安市街地において、別線整備及び現道改良により課題を極力解消するルート		
整備イメージ							
区間延長			約25km(自動車専用道路)		約28km(自動車専用道路+現道改良)		
政策目標	ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上	観光拠点への速達性	・(仮称) 倶知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果がある (倶知安IC～ひらふエリア 現況13分→8分 5分短縮) (倶知安IC～東山エリア 現況25分→20分 5分短縮)		○	・(仮称) 倶知安ICからニセコリゾートまでの時間短縮効果がある (倶知安IC～ひらふエリア 現況13分→11分 2分短縮) (倶知安IC～東山エリア 現況25分→24分 1分短縮)	○
		移動時の安全性	・事故が多発している倶知安市街地やニセコ市街地への交差点を回避できるが、蘭越市街地は回避できない。(3箇所→1箇所)		○	・事故が多発している倶知安市街地を回避できるが、蘭越市街地とニセコ市街地への交差点は回避できない。(3箇所→2箇所)	△
	各市町村間の速達性、安全性の確保	各市町村間移動の速達性	・蘭越町～ニセコ町～倶知安町間の時間短縮効果がある (現況49分→38分 11分短縮)		○	・蘭越町～ニセコ町～倶知安町間の時間短縮効果がある (現況49分→41分 8分短縮)	○
		移動時の安全性	・線形不良(縦断勾配隘路)区間の回避 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況 3区間→0区間)		◎	・現道改良で線形不良(縦断勾配隘路)区間の対策を実施 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況 3区間→0区間)	◎
	地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上	高次医療機関への速達性	・蘭越市街地～倶知安厚生病院までの時間短縮効果が大い (蘭越町～倶知安厚生病院 現況45分→30分 15分短縮)		◎	・蘭越市街地～倶知安厚生病院までの時間短縮効果が他案に比べ小さい (蘭越町～倶知安厚生病院 現況45分→36分 9分短縮)	○
		搬送時の安定性	・線形不良(縦断勾配隘路)区間、蘭越市街地～倶知安厚生病院間の信号交差点を回避 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況 3区間→0区間) (信号交差点 現況 23箇所→12箇所)		○	・別線整備により蘭越市街地～倶知安厚生病院間の信号交差点を5箇所回避し、線形不良(縦断勾配隘路)区間の現道改良を実施 (線形不良(縦断勾配隘路)区間 現況3区間→0区間) (信号交差点 現況 23箇所→18箇所)	△
	大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保	地吹雪やスタックに対する国道機能確保	・地吹雪発生区間やスタック発生箇所を回避 (地吹雪 現況2区間→0区間、スタック 現況2箇所→0箇所)		◎	・スタック発生箇所は現道改良で解消するが、地吹雪発生区間の交差点部で防雪対策ができない。 (地吹雪 現況2区間→1区間、スタック 現況2箇所→0箇所)	○
		洪水に対する国道機能の確保	・洪水浸水想定区域を回避し、確実に通行可能 (洪水浸水想定区域 現況4.0km→0km (4.0km回避))		◎	・現道の嵩上げにより洪水浸水を縦断的に回避し、確実に通行可能であるほか、道路空間を緊急避難所として活用可能 (洪水浸水想定区域 現況4.0km→0km(3.5km回避、0.5km嵩上げ))	◎
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	・市街地を極力回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は案②より小さい		○	・現道の市街地部分を含め改良するため、沿道家屋や土地利用への影響が非常に大きい	△
	環境への影響	自然環境への影響	・地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能		○	・延長の大部分を現道改良するため、自然環境への影響は小さい	◎
	工事中的影響	工事中的現道交通への影響	・別線整備のため、工事中的現道交通への影響は小さい		◎	・国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい	△
	経済性	経済性・概算事業費	・全線別線整備であり、案②より経済性が劣る 約1,000～1,200億円		△	・現道改良の延長が長く、経済性で優位 約900～1,050億円	○

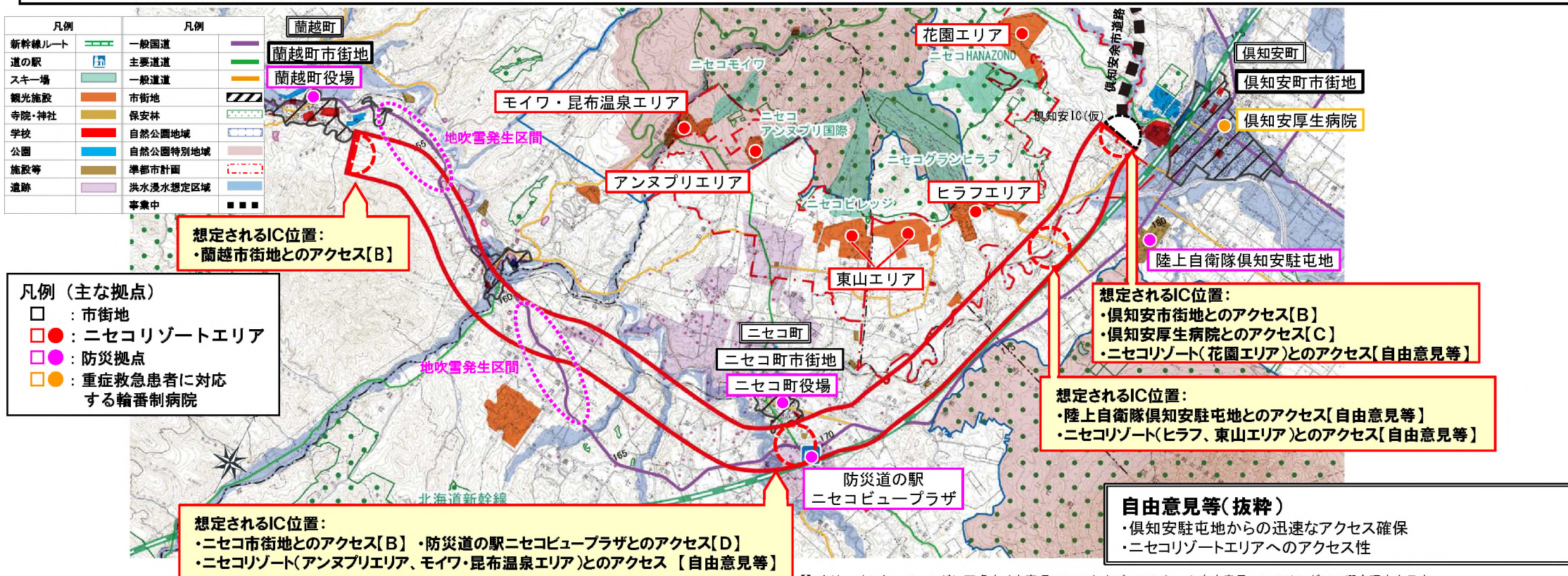
注1 比較表の評価は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載。【凡例】◎:効果が大い/影響が小さい、○:効果が比較的大い/影響が比較的小さい、△:他案に比べ劣る
注2 薄黄着色箇所は、アンケート・ヒアリングの双方で地域から重視されている項目。

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

比較評価の結果、対応方針(原案)については、全ての政策目標の達成が概ね見込め、かつ、地域が望む重視・配慮すべき項目に概ね適切に対応可能な【案①】別線整備ルートを対応方針(原案)とする。

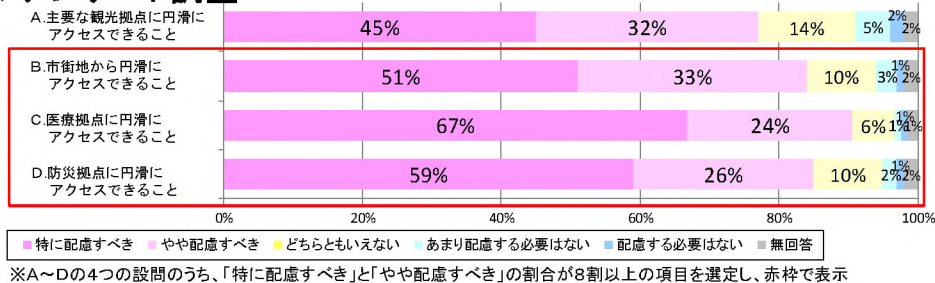
3-7) 対応方針(原案)の検討(インターチェンジに配慮すべき事項)

- インターチェンジの配置については、洪水浸水想定区域や地吹雪発生区間を回避しつつ、市街地・医療拠点・防災拠点・ニセコリゾートとのアクセス性に配慮。
- 地域意見聴取においても、市街地・医療拠点・防災拠点とのアクセスについて、8割以上が配慮すべきと回答。
- また、災害時の広域的な支援拠点となる、「陸上自衛隊倶知安駐屯地」とのアクセス性に配慮。

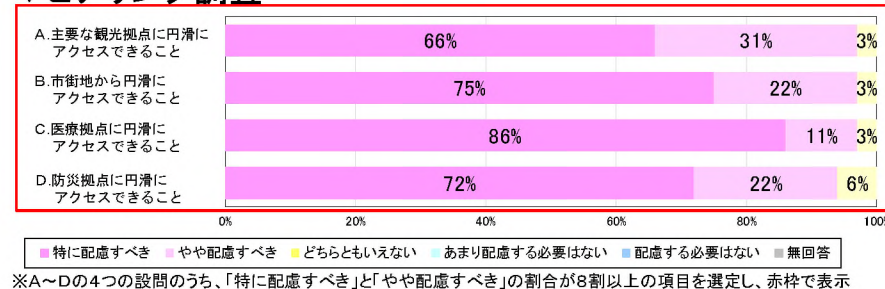


【内は、インターチェンジに配慮すべき事項のA～Dおよび、アンケート自由意見、ヒアリングでの選定理由を示す。

▼アンケート調査



▼ヒアリング調査



4. 自治体への意見照会結果

4-1) 自治体への意見照会結果(対応方針(原案)に対する意見)

▼意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
	○北海道横断自動車道(蘭越～倶知安)の対応方針(原案)について同意します。 ○本道における高規格道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域周遊観光および社会経済活動の活性化への貢献のほか、円滑な救急搬送を支え、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。 ○北海道横断自動車道(蘭越～倶知安)の整備は、ニセコリゾートへのアクセスや医療拠点である倶知安町への救急搬送において速達性や安定性の向上、また大規模災害時や異常気象時の通行機能の確保など多くの効果を発揮するものと考えています。 ○このため、北海道としても、事業化の際には当該区間の整備効果が最大限発揮されるよう、関係町村と連携してまいります。 ○つきましては、対応方針の決定に際し、地域の意見を十分反映していただくとともに、当該道路を早期に事業化していただくよう特段のご配慮をお願いいたします。

▼自治体意見照会の回答(北海道知事)

建 政 第 537 号 令和5年(2023年)12月15日 国土交通省北海道開発局長 柿崎 恒美 様 北海道知事 鈴木 直 道 (公 印 省 略) 道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答) 日頃から北海道の建設行政の推進につきましては、格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 さて、令和5年12月11日付け北開局道計第74号で照会のありましたこのことについて、別紙「計画段階評価に係る「対応方針(原案)」に対する意見」のとおり回答いたします。 連絡先 建設部建設政策局建設政策課 政策調整係 TEL 011-231-4111 内線 29-124 FAX 011-232-9162
--

別 紙	
計画段階評価に係る「対応方針(原案)」に対する意見	
(道路事業)	
事業名	「対応方針(原案)」に対する意見
北海道横断自動車道(女満別空港～網走)	北海道横断自動車道(女満別空港～網走)の対応方針(原案)について同意します。 本道における高規格道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域周遊観光および社会経済活動の活性化への貢献のほか、円滑な救急搬送を支え、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。 北海道横断自動車道(女満別空港～網走)の整備は、小麦・馬鈴薯・鮭などの農水産物をはじめとする物流やオホーツク地域唯一の第3次医療機関がある北見市への救急搬送において速達性や安定性の向上、また広域周遊観光の促進、さらには異常気象時の通行機能の確保など多くの効果を発揮するものと考えています。 このため、北海道としても、事業化の際には当該区間の整備効果が最大限発揮されるよう、関係市町と連携してまいります。 つきましては、対応方針の決定に際し、地域の意見を十分反映していただくとともに、当該道路を早期に事業化していただくよう特段のご配慮をお願いいたします。
北海道横断自動車道(蘭越～倶知安)	北海道横断自動車道(蘭越～倶知安)の対応方針(原案)について同意します。 本道における高規格道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域周遊観光および社会経済活動の活性化への貢献のほか、円滑な救急搬送を支え、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。 北海道横断自動車道(蘭越～倶知安)の整備は、ニセコリゾートへのアクセスや医療拠点である倶知安町への救急搬送において速達性や安定性の向上、また大規模災害時や異常気象時の通行機能の確保など多くの効果を発揮するものと考えています。 このため、北海道としても、事業化の際には当該区間の整備効果が最大限発揮されるよう、関係町村と連携してまいります。 つきましては、対応方針の決定に際し、地域の意見を十分反映していただくとともに、当該道路を早期に事業化していただくよう特段のご配慮をお願いいたします。

5. 対応方針（案）のまとめ

5-1) 対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【課題】

- 倶知安ICからニセコリゾートまでのアクセスルート上には、一般交通と観光交通が混在して市街地を通過する必要があるが、市街地部では信号交差点が連続し速度低下や交通事故発生個所があり、速達性及び安全性が課題。
- 蘭越町やニセコ町を中心にニセコリゾート等での観光従事者の定住地確保の動きがあるが、市街地の交差点での速度低下や線形が悪い郊外部での交通事故が発生しており、速達性及び安全性が課題。
- 当該地域は豪雪地帯のため、冬期はドクターヘリの出動できないことが多いが、蘭越町やニセコ町から倶知安町への救急搬送ルート上に、速度低下の大きい市街地や走行性の悪い線形不良箇所が存在しており、速達性及び安定性が課題。
- 道南～道央間の貨物輸送を担う幹線道路や鉄道は太平洋側に位置しており、平成12年の有珠山噴火時はいずれも被災し、物流事業者は国道5号への迂回を余儀なくされたが、代替路である国道5号においても地吹雪やスタックが発生しているほか、洪水浸水想定区域も存在し、災害時における広域物流の確実性が課題。

【政策目標】

- ニセコリゾートへの速達性、安全性の向上
- 各市町村間の速達性、安全性の確保
- 地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上
- 大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保

2. 対応方針(案)

【案①】別線整備ルートに対応方針(案)とする

【理由】

- 【案①】別線整備ルートは、【案②】に比べ、概ね全ての政策目標において同等以上の達成が見込め優れている。
- 地域意見聴取の結果、政策目標の達成のためには、「急カーブやアップダウン・信号箇所の回避」、「医療拠点への搬送時間の短縮」、「地吹雪区間の回避」、「災害時の迅速な啓開・復旧活動と避難時のアクセス性」がアンケート及びヒアリング双方で重視されている。
- インターチェンジの詳細な位置や構造については、地域意見聴取の結果を踏まえ、「市街地から円滑にアクセスできること」、「医療拠点に円滑にアクセスできること」、「防災拠点に円滑にアクセスできること」、「ニセコリゾートへのアクセス性」、「陸上自衛隊倶知安駐屯地とのアクセス性」に寄与する配置とする。

3. その他

- 今後の詳細な道路構造等の検討にあたっては、地域への影響、自然環境への影響、工事中の現道交通への影響、経済性等に配慮しながら計画を進める。

5-2) 対応方針(案)

○洪水浸水想定区域や地吹雪発生区間を回避し、市街地・観光拠点・防災拠点は基より、周辺自治体の医療も担っている倶知安町の医療施設への速達性・安定性の向上が図られる【案①】別線整備ルートを対応方針(案)とする。

○インターチェンジの配置については、市街地・観光拠点・医療拠点・防災拠点とのアクセス性は基より、災害時の復旧・支援に資する自衛隊駐屯地からのアクセス性にも配慮した配置案とする。

